

平成25年度 事業報告書

はじめに	3
I. 法人の概要	3
1. 学校法人の沿革（概要）等	3
2. 学校法人跡見学園寄附行為及び建学の理念	4
3. 寄附行為に定める事業内容	4
4. 所管官庁に関する事項	4
5. 設置する学校・学部・学科等	5
6. 理事・監事・評議員（第21期）、顧問	5
7. 学園組織	7
8. 専任教職員の概要	8
9. 学外施設	9
II. 事業の概要	10
1. 当該年度の主な事業の概要	10
2. 教育研究の概要	13
(1) 女子大学の概要	13
(2) 女子大学の実績	19
(3) 中学校高等学校の実績	37
3. 管理運営の概要	51
III. 財務の概要	61
1. 平成25年度跡見学園収支決算について	61
(1) 資金収支計算書	61
(2) 消費収支計算書	64
(3) 貸借対照表	68
(4) 財産目録	70
2. 過去5年間の収支決算の推移について	71
IV. 収益事業の概要	72
監査報告書	75

はじめに

平成25年度は、ウクライナをはじめとする世界的な政情不安や、新興国経済失速の副作用を伴うアメリカ金融緩和の出口模索も続くなか、北朝鮮の核問題、中国・韓国との外交摩擦等を抱える日本にとって、国際的に厳しい環境が続きました。

一方、国内にあっては、財務省が平成26年4月21日に発表した平成25年度の貿易統計速報によると、輸出額から輸入額を引いた貿易収支は13兆7488億円の赤字（3年連続は昭和54年度以降で初）で、平成24年度より7割近く拡大して過去最大を記録しました。円安を背景にして高騰した燃料等の輸入額の膨張に歯止めがかからず、円安が進んだ割には貿易収支がなかなか黒字に転換しない構造、製造業の海外現地生産も進んで輸出を基点とした日本経済の自律回復がますます難しくなる構造が、一段と鮮明になりつつあります。

このような内外の変化は、教育にも大きな影響を及ぼして来ます。18歳人口の急減が再び数年後に迫るなかで、厳しい競争的環境を勝ち抜くための将来計画の立案や改革を進めていくためには、財務の健全性について確固とした見通しに立ちつつ、今後の進学・進路動向の変化や価値観の流動化等に対して、既成の枠組や先入観にとらわれることなく、一段と注意深く対処していく必要があります。

学園は、今後とも「選ばれる私学」たるため、女子教育の新しい領野を開拓し、他にはない「優れた教育」を実践し、満足度の高い学修成果を導き出すことができる「常に改革し前に動いている跡見」であることが求められています。

現在、学園が取り組んでいる改革は、大学にあっては、都心にキャンパスを有する女子大学として、これに相応しい教育課程の再編とキャンパスの再整備であり、女性の生涯のなかにある可能性を社会に向かって最大限に引き出す教育の追求であります。また、中学高校にあっては、一段と高い大学進学競争力を発揮できる学校として、生徒の力を伸ばす面倒見のよい教育体制への速やかな刷新であります。これらの改革を継続するとともに、今後は、さらにその先にあるものも見据えて参ります。

このために、幕末にルーツをもつ近代女子教育の先駆的な私立学校である「跡見学校」以来の革新の伝統を継ぐ教育機関としての学園は、女子教育に対する深い使命感と高い財務規律に立って、今後とも如何なる環境の変化にも対応できる強固な財務基盤を堅持し、揺るぎなく些かの不安も生じることのない学校経営を図っていく所存であります。

I. 法人の概要

1. 学校法人の沿革（概要）等

- 明治8年 跡見学校開校
- 大正2年 財団法人跡見女学校となる
- 昭和19年 跡見女学校を廃し、跡見高等女学校となる
- 昭和21年 跡見高等女学校専攻科設置（文科、家政科）
- 昭和22年 跡見学園中学部設置
- 昭和23年 跡見学園高等学校設置
- 昭和24年 跡見学園高等学校専攻科設置
- 昭和25年 跡見学園短期大学（文科、家政科〈家政課程、生活芸術課程〉修業年限2年）を設置
跡見学園中学部を跡見学園中学校へ名称変更
- 昭和26年 学校法人跡見学園となる
- 昭和27年 跡見学園短期大学、生活芸術科増設
- 昭和40年 跡見学園女子大学（文学部・国文学科、美学美術史学科）を設置
- 昭和42年 跡見学園女子大学文学部英文学科増設

- 昭和49年 跡見学園女子大学文学部文化学科増設
- 昭和57年 跡見学園短期大学文科英文専攻課程増設（文科・国文専攻、英文専攻となる）
- 昭和61年 跡見学園短期大学文科英文専攻臨時的定員増
- 平成3年 跡見学園女子大学文学部臨時的定員増
- 平成7年 跡見学園短期大学を跡見学園女子大学短期大学部に名称変更
- 平成12年 跡見学園女子大学文学部・跡見学園女子大学短期大学部英文専攻、臨時的定員増延長
- 平成14年 跡見学園女子大学文学部国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科を改組して人文学科を設置、臨床心理学科を増設、マネジメント学部マネジメント学科を新設
跡見学園女子大学短期大学部文科、家政科、生活芸術科の入学定員を変更
- 平成16年 跡見学園女子大学短期大学部文科を言語文化科へ、国文専攻を日本語専攻へ、英文専攻を英語専攻へそれぞれ名称変更し、言語文化科及び家政科の入学定員を変更
- 平成17年 跡見学園女子大学大学院（人文科学研究科・日本文化専攻、臨床心理学専攻）を設置
- 平成18年 跡見学園女子大学に文学部コミュニケーション文化学科、マネジメント学部生活環境マネジメント学科、大学院マネジメント研究科（マネジメント専攻）を増設、文学部美学美術史学科を廃止
- 平成19年 跡見学園女子大学文学部国文学科、英文学科、文化学科を廃止
跡見学園女子大学短期大学部を廃止
- 平成22年 跡見学園女子大学に文学部現代文化表現学科、マネジメント学部観光マネジメント学科を増設
- 平成23年 跡見学園女子大学の本部を文京キャンパスへ移転

2. 学校法人跡見学園寄附行為及び建学の理念

大正二年十一月二十一日制定
(大正二年十月十日証書作成)

(前文)

本法人は、財団法人跡見女学校を組織変更して、その一切の事業を継承するものである。本法人の前身者財団法人跡見女学校は、明治八年一月八日、東京神田仲猿楽町に跡見花蹊が設立し、爾来経営して来た跡見女学校の施設一切を、同人のため原富太郎外四百四十名の寄附になる校舎校具と共に移付し、大正二年十一月二十一日設立した財団法人で、当時の役員は、名誉顧問松尾臣善、渋沢栄一、千家尊福、理事跡見花蹊、跡見泰、跡見李子、原富太郎、橋本太吉、角田真平、島田三郎、監事安田善三郎、増田義一である。

茲に本法人は建学以来一貫した花蹊の教育精神を継ぎ、時世に適した女子教育を行い、もつてもつとも健全な公民としての完全な淑女を養成しようとするものである。

3. 寄附行為に定める事業内容

(目的)

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行うことを目的とする。

4. 所管官庁に関する事項

文部科学省高等教育局私学部

東京都生活文化局私学部

5. 設置する学校・学部・学科等

平成25年5月1日現在

学校名（所在地）	学部・学科等名	開設年度	入学定員	収容定員	現員
		年度	人	人	人
跡見学園女子大学 (埼玉県新座市中野一丁目9番6号) (東京都文京区大塚一丁目5番2号)	大学院 人文科学研究科 日本文化専攻 臨床心理学専攻 マネジメント研究科 マネジメント専攻	平成17年	8	16	2
		平成17年	12	24	28
		平成18年	15	30	3
	跡見学園女子大学大学院 合計			35	70
文京キャンパス (東京都文京区大塚一丁目5番2号) 新座キャンパス (埼玉県新座市中野一丁目9番6号)	文学部 人文学科 現代文化表現学科 コミュニケーション文化学科 臨床心理学科 マネジメント学部 マネジメント学科 観光マネジメント学科 生活環境マネジメント学科	平成14年	180	720	858
		平成22年	90	360	453
		平成18年	120	480	517
		平成14年	120	480	515
		平成14年	210	840	988
		平成22年	90	360	435
		平成18年	60	240	266
跡見学園女子大学 合計			870	3,480	4,032
跡見学園高等学校 (東京都文京区大塚一丁目5番9号)	全日制課程普通科	昭和23年	300	900	756
跡見学園中学校 (東京都文京区大塚一丁目5番9号)		昭和22年	300	900	853
跡見学園 合計			1,505	5,350	5,674

※中学校の募集定員は270名

6. 理事・監事・評議員（第21期）、顧問（平成25年5月1日現在）

(1) 理事 13名

氏名	区分・学園との関係	氏名	区分・学園との関係
山崎一穎	理事長 学識経験者	岡田章子	評議員理事（卒業生）
嶋田英誠	職務上・中高校長 常務理事（教学担当）	大塚和子	評議員理事（卒業生）
山田徹雄	職務上・女子大学長 常務理事（財務担当）	見米孝尚	評議員理事（保証人）
大塚博	職務上・女子大副学長	佐藤正昭	評議員理事（学識経験者）
住川明子	職務上・中高副校長	日下部禮代子	評議員理事（学識経験者）
堀雅裕	職務上・法人事務局長 事業理事 常務理事（総務・人事担当）	平木典子	学識経験者
小仲信孝	評議員理事（教職員）		

(2) 監事 2名

氏名	区分・学園との関係	氏名	区分・学園との関係
金井塚清	学識経験者	伊澤辰雄	学識経験者

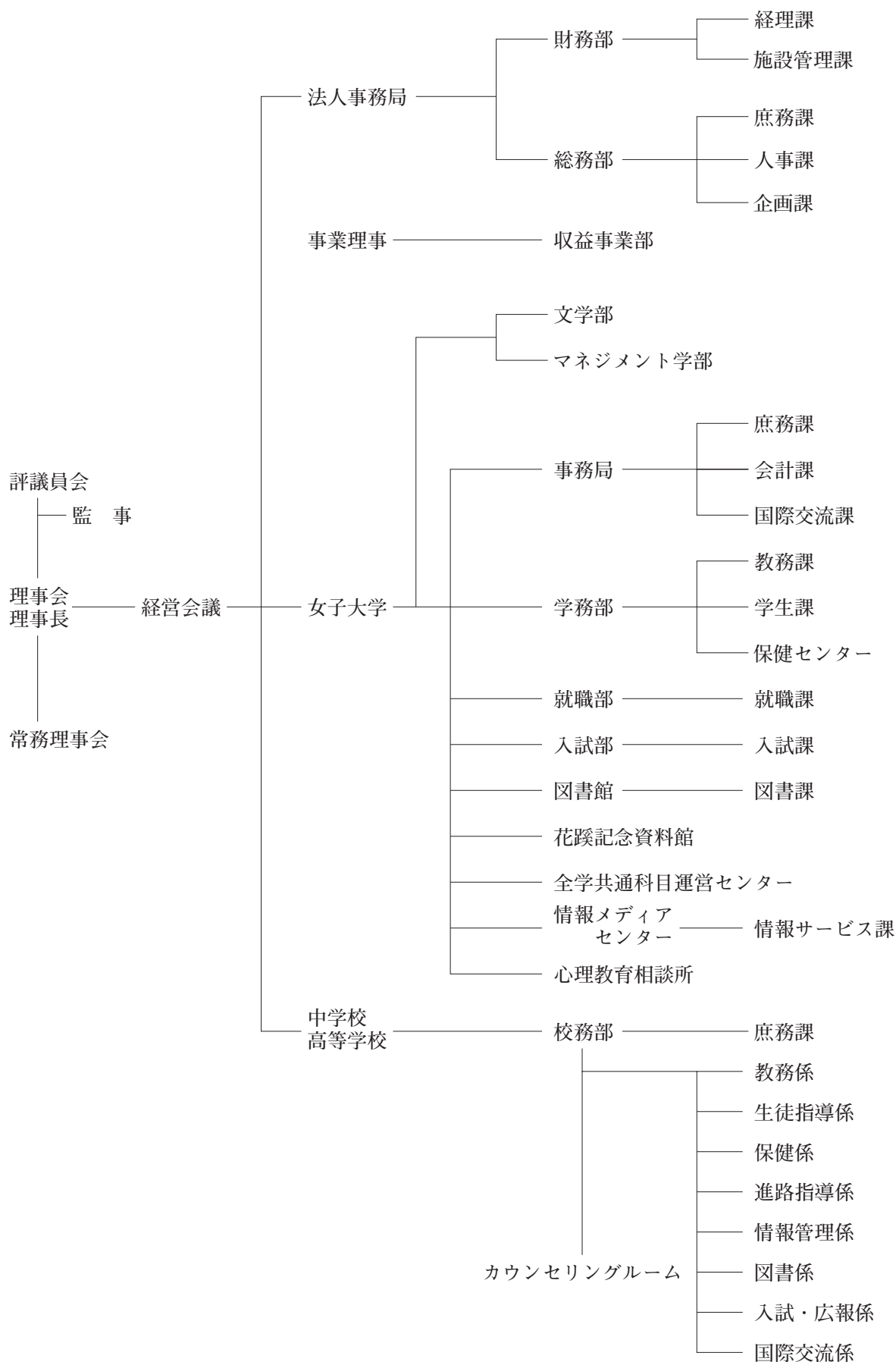
(3) 評議員 36名

氏名	区分・学園との関係	氏名	区分・学園との関係
大野二郎	教職員(大学)	山田徹雄	職務上・女子大学長
小仲信孝	教職員(大学)	大塚博	職務上・女子大副学長
山口豊一	教職員(大学)	嶋田英誠	職務上・中高校長
花澤英夫	教職員(中高)	住川明子	職務上・中高副校長
伊東利博	教職員(中高)	堀雅裕	職務上・法人事務局長
詫磨学	教職員(法人)	鈴木克久	保証人(大学)
木村安子	卒業生(泉会)	牧野丘	保証人(大学)
岡田章子	卒業生(泉会)	邊見孝之	保証人(大学)
川合智子	卒業生(泉会)	大関勝浩	保証人(大学)
松浦仁子	卒業生(泉会)	川本武彦	保証人(大学)
山下陽枝	卒業生(校友会長・桃李の会)	河野政美	保証人(大学)
萬葉洋子	卒業生(桃李の会)	見米孝尚	保証人(中高)
田中恵美子	卒業生(桃李の会)	加藤三郎	保証人(中高)
唐木フク	卒業生(桃李の会)	上村明	保証人(中高)
大塚和子	卒業生(一紫会)	佐藤正昭	学識経験者
藤田理恵子	卒業生(一紫会)	日下部禧代子	学識経験者
田子郁子	卒業生(一紫会)	宮本文昭	学識経験者
池田文子	卒業生(一紫会)	今野雅裕	学識経験者

(4) 顧問 1名

氏名	区分・学園との関係	備考
跡見純弘	学識経験者	前理事長

7. 学 園 組 織 (平成25年4月1日現在)



8. 専任教職員の概要 (平成25年 5月1日現在)

(1) 教職員数等

(単位：名)

研究科等名	専任					非常勤
	教授	准教授	講師	助教	計	
大学院						
人文科学研究科 (学部専任教員14名兼担)						
日本文化専攻	5	1	0	0	6	8
臨床心理学専攻	6	2	0	0	8	
マネジメント研究科 (学部専任教員10名兼担)						
マネジメント専攻	10	0	0	0	10	6
跡見学園女子大学大学院 合計	21	3	0	0	24	14

学部・学科等名	専任					非常勤
	教授	准教授	講師	助教	計	
大学						
文学部						
人文学科	18	5	0	3	26	105
現代文化表現学科	5	3	0	0	8	15
コミュニケーション文化学科	8	2	0	1	11	26
臨床心理学科	8	4	0	0	12	28
マネジメント学部						
マネジメント学科	9	4	1	3	17	45
観光マネジメント学科	5	3	0	0	8	7
生活環境マネジメント学科	5	2	0	1	8	28
跡見学園女子大学 合計	58	23	1	8	90	254

中学校高等学校	専任					非常勤
	校長	副校長	教諭	講師	計	
高等学校			32		32	20
中学校		1	38		39	32
跡見学園中学校高等学校 合計		1	70	0	71	52

※中学校の募集定員は270名
 ※校長は役員なので含めず

事務・技術・用務職員	専任				アルバイト 契約等
	事務職員	技術職員	用務職員	合計	
法人事務局 (含事業部)	20	0	0	20	3
女子大学	70	0	2	72	62
中学校高等学校	9	0	1	10	29
跡見学園 合計	99	0	3	102	94

以上 専任教職員 263名
 その他 414名
 合計 677名

9. 学 外 施 設

(1) 北軽井沢研修所

住 所 〒377-1412 群馬県吾妻郡長野原町大字北軽井沢地藏堂1991番地92

電 話 0279-84-2362

F A X 0279-84-1178

収容人数 約80名

テニスコート、バレーボールコート、グラウンドを備え、クラブ活動、ゼミ、研修など幅広く活用できる。

(2) 学生寮

住 所 〒352-0011 埼玉県新座市野火止五丁目17番17号

電 話 048-478-3337 (FAX兼)

収容人数 133名

設 備 全室個室 (洋室)

バス、トイレ、エアコン、冷蔵庫、机、ベッド、電話、インターネットアダプタを完備

食堂、談話室、作法室、レッスンルーム、コインランドリー設置

食 事 平 日：朝食・夕食

日・祝日：朝食のみ

Ⅱ. 事業の概要

1. 当該年度の主な事業の概要

平成25年度実績の主な概要は、次のとおりである。

<法人関係>

○次年度予算の編成について

平成26年度予算は、△5%のシーリングを既に行っている平成25年度予算対比でゼロシーリングとし、このゼロシーリング枠内に消費税アップ分も吸収することで、引き続き収支均衡を目指した結果、当年度消費支出超過額257,291千円となった。平成26年度固有の学部設置経費63,798千円及びOS保証期限切れに伴うPC更新費191,993千円の合計額が255,791千円なので、これを除けば、消費収支均衡の予算となった。

○学費の改定について

これまで長期にわたって学費を据え置いてきたが、昨年来の円安による物価上昇、消費税アップの動向等を勘案し、今後とも競争的環境の中で教育の質を高め、収支均衡の財政を維持するため、平成26年3月25日の理事会・評議員会において、学費の競争力を高めるため初年次納付額を引き下げることも含め、平成27年度から学年進行で学費改定（平成25年度学生生徒等納付金収入を基準に4.92%増）を実施することを決議した。

○寄付金に係る税額控除の適用法人の認定について

文部科学大臣に申請していた寄付金に係る税額控除の適用法人の認定申請について、平成25年4月25日に認定（5年有効）の通知があった。また、寄付金応募への感謝を改めて伝えるとともに次年度以降にもつなげるため、平成25年度から、寄付者の方々（昨年度も含む。）に対して学園祭のご案内と専用の食券（500円分）をお送りした。

○評議員会構成の変更に係る寄附行為変更認可について

第22期役員・評議員の定期改選に当たり、学校法人の機動的な意思決定と公共性の確保を適正なバランスの下で実現する必要の観点から、その外部性を高め、構成の多様化・適正化を図るため、寄附行為を変更し、平成26年2月5日に文部科学省の認可を得た。

これにより、大学保証人評議員（6人）を1人減じ、これを教職員評議員（6人）に移し短大廃止前の7人に戻して、これまで法人事務局から1名しか選出されなかった事務職員評議員の選出機会の拡大に充てるとともに、適正な評議員構成のもとで外部性を高めるために、学識経験者評議員（4人）を1人増やす。

○小日向校地の用途変更について

平成25年3月26日の理事会・評議員会の決議に基づき、小日向校地（テニスコート）について、これを用途変更（文部科学省への届出）することにより、新学生寮の敷地に転用される予定の音羽駐車場に代わる時間貸し駐車場として、平成25年12月から当分の間、銀泉㈱に賃貸することが決定した。小日向駐車場は、設置工事が平成25年12月19日をもって完了し、翌日20日からオープンとなった。

○学園ホームページの運用について

平成25年4月1日から学園の新しいホームページが一般公開された。平成26年3月20日にはホームページにバナーを貼り、新学部（構想中）のページに飛ぶようにした。また、ホームページ再構築検討委員会の後継委員会として、再構築検討委員会の経験と新たなホームページの運用実績を踏まえ、これを数年後のホームページの更なる再構築に向けて、つなぎの役割を担わせるため、ホームページ運用委員会を設置した。

○外部監査・調査・検査への集中対応について

平成25年10月から、税務調査（小石川税務署）、東京都監査（監査事務局）、補助金執行に係る現地調査（東京都私学部）、優良防火対象物認定に係る現地調査（小石川消防署）、会計検査院実地調査（第四局文部科学検査第一課）、消費税適正転嫁の立入検査（中小企業庁消費税転嫁対策室）、ビル管理法による立入検査（東京都健康安全センター）、PCB廃棄物保管状況の立入検査（埼玉県西部環境管理事務所）に対して、集中的に対応した。

○廃棄物再利用率の向上について

学園文京地区の産業廃棄物の再利用率の向上を図るため、平成25年度から古紙回収業者を導入して「ミックスペーパー回収グリーンボックス」を設置し、分別回収を徹底することとした。平成25年度の再利用率については、23区学校の平均51%を上回る53.8%まで引き上げる改善計画を文京区に提出し、実績として56.5%を達成した。

○災害時の帰宅困難者に対応するための備蓄について

平成25年4月1日から東京都震災対策（帰宅困難者対策）条例が施行され、備蓄についても一定の指針が示されたことを受け、被災地域内（学園）で3日間の自立確保のための帰宅困難者対策を立てることにより、災害備蓄のための防災用品を整備した。

○有価証券の活用について

学園隣接地を有する金融機関との良好な関係を継続するために、その傘下にある証券会社を介して、次のような有価証券を新たに購入するとともに、適正な運用体制を整備するため、平成26年3月25日の理事会において、資金運用規程を制定した。

- ・日経平均株価を連動対象とするエクイティ・リンク債（1億円 期間3年 クーポン1.8%）を平成25年6月28日に購入。（9月28日に券面金額100%で早期償還）
- ・鹿島建設の普通株式にリンクした他社株転換債（EB債）（1億円 期間2年 クーポン2%）を平成25年10月7日に購入。
- ・日経平均株価を連動対象とするエクイティ・リンク債（2億円 期間3年 クーポン1.4%）を平成26年1月20日に購入。

<大学関係>

○新学部の設置認可申請について

平成25年10月22日及び平成26年3月25日の理事会・評議員会において、大学が構想中の「観光コミュニティ学部」（観光デザイン学科120名、コミュニティデザイン学科80名）の設置認可を文部科学省に申請することが承認された。観光とコミュニティに関する新しいデザインの学識や技能を備え、コミュニティが抱える様々な諸課題を解決し、活性化に貢献できる人材養成を目的として、国や地域社会からの期待に応えるとともに、学園の高等教育の一層の拡充、及び定員純増による経営基盤のさらなる確立、を目指す。

○海外の教育機関との協定について（大学）

国際交流を推進するため、大学に国際交流課を新設し、国立スターリング大学（英国）と基本合意書（7月24日）、国立高雄餐旅大学（台湾）と友好協定（8月18日）、及び国立ビシケク人文大学（キルギス共和国）と学術交流協定（8月27日）を、それぞれ締結した。なお、ロイヤルローズ大学（カナダ）との基本協定書の締結も内定（平成26年4月22日予定）している。

○跡見ギャラリーの運営について

平成25年4月30日に開所式を行った跡見ギャラリー（茗荷谷交通ビル）は、積極的に企画展を開催してき

たが、平成26年度からは、文京区との連携をより重視する観点から、逐次予算請求という方式を改め、年間事業計画に基づいて当初予算から措置することとした。このための運営組織として、跡見ギャラリー運営委員会を設けることとした。

○新学生寮について

平成25年3月26日の理事会・評議員会で承認された新学生寮の設置について、現学生寮の契約不更新を7月10日に申し入れ、敷地となる音羽駐車場の契約解除が平成26年5月26日と決まったことから、現学生寮のオーナーの要望を受け入れて、新学生寮（地下1階・地上4階 2,428.31㎡ 94名収容）への移行時期を1年前倒しとし、平成27年4月開設を目途に、新学生寮の建設工事を平成26年6月から始めることとした。

○次期学長及び副学長の選任について

平成25年12月3日の理事会において、次期学長（任期：平成26年4月1日～平成30年3月31日）として、現学長の山田徹雄教授（観光マネジメント学科）が再選された。併せて、次期副学長（任期は学長と同じ。）についても、現副学長の大塚 博教授（現代文化表現学科）が再選されたことが報告された。

< 中学高校関係 >

○中高一貫教育校への移行について

学園は中学校と高等学校を併設し、従前より学習指導要領の範囲内で独自の中高一貫教育を行ってきたが、今後、生徒の進路の多様化や大学入試センター試験をはじめとする入試制度の改変への対応、また、進学校として中高一貫教育の特徴を最大限に活かした教育課程の編成を行うため、平成26年3月25日の理事会・評議員会において、法令に基づき、中学校と高等学校を相互に併設校と位置づけ、併設型中高一貫教育校と認定されるために必要な学則改正を行った。

○中学高校に関する組織規程の一部改正について

平成26年度以降の校務改革をより迅速・確実に進める必要の観点から、中学高校における校長・副校長・校務部長という指揮命令系統を明確化するため、各系の主任のほか、学年主任及び教科主任についても、これを校務部長の下に置くこととする組織変更を行った。

○海外の教育機関との協定について（中学高校）

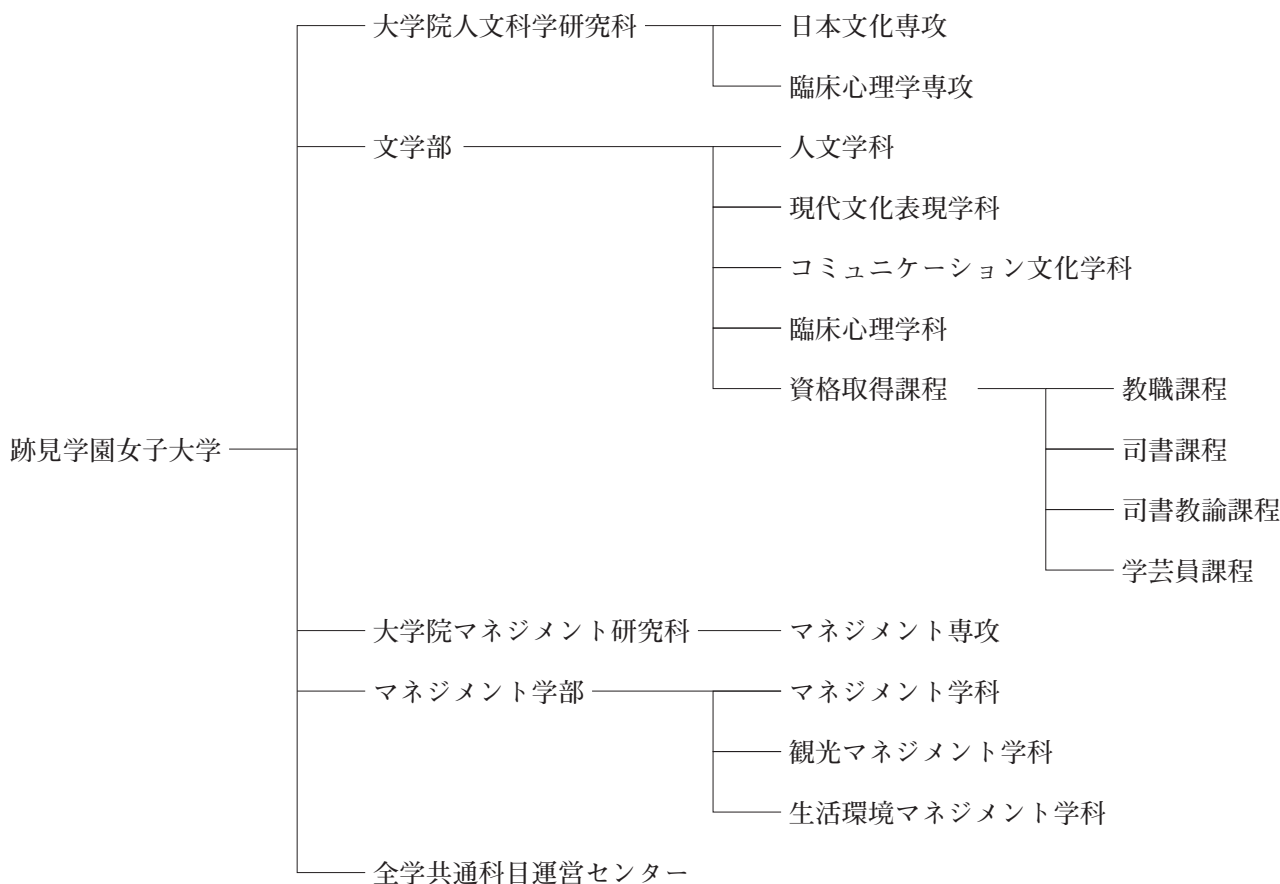
国際交流を推進するため、中学高校に国際交流係を新設し、St. Rita's校（オーストラリア）と姉妹校としての協定（8月26日）を締結した。

2. 教育研究の概要

・女子大学

(1) 女子大学の概要

(1) 教育研究上の基本となる組織に関する情報（学部、学科、課程等の名称）



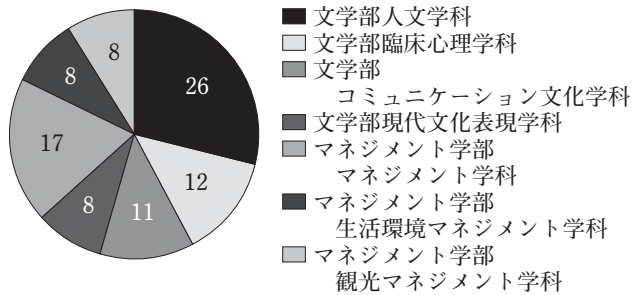
(2) 教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報

大学等	学部・研究科等	学科	教員数
学部	文学部	人文学科	26名
		臨床心理学科	12名
		コミュニケーション文化学科	11名
		現代文化表現学科	8名
	マネジメント学部	マネジメント学科	17名
		生活環境マネジメント学科	8名
観光マネジメント学科		8名	
大学院	人文科学研究科		14名
	マネジメント研究科		11名
【教員の保有学位または職務上の実績等】 博士後期課程修了または単位取得満期退学者 文学部35名、マネジメント学部24名、人文科学研究科11名、マネジメント研究科6名			

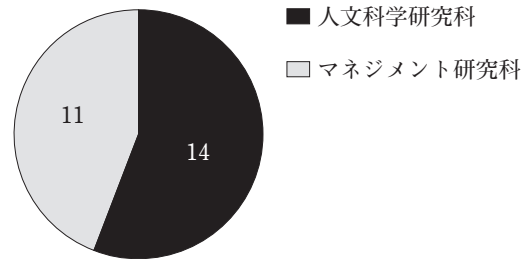
教員に占める博士課程修了または単位取得満期退学者の比率

大学等	学部・研究科等	博士課程修了または 単位取得満期退学者	そうでない者	教員数
学部	文学部	35	22	57
	マネジメント学部	24	9	33
大学院	人文科学研究科	11	3	14
	マネジメント研究科	6	5	11

学科別教員数（学部）



研究科別教員数（大学院）



(3) 学生に関する情報

【入学に関する基本的な方針】

跡見学園女子大学は、大学教育に耐え得る基礎的な学力を持ち、物事に積極的に取り組むチャレンジ精神によって、自律的かつ自立的な社会人を目標とする受験生を求める。入学後、幅広い視野を身につけ、学問を通じて問題を自ら設定し、情報を収集・分析して企画・立案できるスキルを修得するためには、本学の教育課程に対する理解と本学の教育課程を修得しようとする意欲が求められる。

学部・研究科	入学者数	収容定員	在学者数	卒業者数	進学者数	就職者数
文学部	601名	2,040名	2,343名	552名	37名	400名
マネジメント学部	450名	1,440名	1,689名	403名	6名	339名
人文科学研究科	13名	40名	30名	17名	0名	5名
マネジメント研究科	2名	30名	3名	1名	0名	1名

(4) 教育課程に関する情報

別冊をご覧ください。

(別冊省略)

別冊項目

- 1) 全学共通科目（前期課程）
- 2) 全学共通科目（後期課程）
- 3) 人文学科専門科目（前期課程）
- 4) 人文学科専門科目（後期課程）
- 5) 現代文化表現学科専門科目（前期課程）
- 6) 現代文化表現学科専門科目（後期課程）
- 7) コミュニケーション文化学科専門科目（前期課程）
- 8) コミュニケーション文化学科専門科目（後期課程）
- 9) 臨床心理学科専門科目（前期課程）
- 10) 臨床心理学科専門科目（後期課程）
- 11) マネジメント学科専門科目（前期課程）

- 12) マネジメント学科専門科目 (後期課程)
- 13) 観光マネジメント学科専門科目 (前期課程)
- 14) 観光マネジメント学科専門科目 (後期課程)
- 15) 生活環境マネジメント学科専門科目 (前期課程)
- 16) 生活環境マネジメント学科専門科目 (後期課程)
- 17) 人文科学研究科日本文化専攻
- 18) 人文科学研究科臨床心理学専攻
- 19) マネジメント研究科マネジメント専攻

(5) 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

学部・研究科等	学科	修業 年限	必要修得 単位数	科目区分ごとの		取得可能な学位及び 専攻名称
				必修	選択	
文学部	人文学科	4	124	23	101	学士 (人文学)
	現代文化表現学科	4	124	21	103	学士 (文化表現学)
	コミュニケーション文化学科	4	124	30	94	学士 (コミュニケーション文化学)
	臨床心理学科	4	124	33	91	学士 (臨床心理学)
マネジメント学部	マネジメント学科	4	124	25	99	学士 (マネジメント学)
	観光マネジメント学科	4	124	23	105	学士 (マネジメント学)
	生活環境マネジメント学科	4	124	23	105	学士 (マネジメント学)
人文科学研究科	日本文化専攻	2	30	14	16	修士 (人文学)
	臨床心理学専攻	2	30	22	8	修士 (臨床心理学)
マネジメント研究科	マネジメント専攻	2	30	6	24	修士 (マネジメント学)

(6) 学修環境に関する情報

大学等	キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段
大 学	文京キャンパス	文学部 (3,4年) マネジメント学部 (3,4年) 大学院マネジメント研究科	〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2 TEL.03-3941-7420	丸ノ内線 茗荷谷駅より徒歩2分 有楽町線 護国寺駅より徒歩8分
		【キャンパス概要】 1号館 (茗荷谷図書館、視聴覚ホール、学生食堂)、2号館 (Atomi Blossom Hall)、3号館		
	新座キャンパス	文学部 (1,2年) マネジメント学部 (1,2年) 大学院人文科学研究科	〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6 TEL.048-478-3333	JR武蔵野線 新座駅より大学バス7分 東武東上線 志木駅より西武バス15分
		【キャンパス概要】 1号館、2号館 (花蹊記念資料館、視聴覚教室)、3号館、4号館、花蹊メモリアル ホール、新座図書館、グリーンホール (学生食堂、ラウンジ)、体育館、グラウ ンド、心理教育相談所		
【授業】 文京キャンパスにおいては、学部の後期課程科目の全学共通科目及び専門科目並びにマネジメント研究科の専門科目の授業が行われている。新座キャンパスにおいては、学部の前期課程の全学共通科目及び専門科目並びに人文科学研究科の専門科目の授業が行われている。授業期間は、文京、新座両キャンパスとも、春学期 (4月から9月) 及び秋学期 (10月から3月) の2期に分かれている。				
【課外活動の状況】 クラブ・サークル活動 体育系) 競技ダンス部、体育会チアリーディング部、体育会ラクロス部、ダンス部A☆fig、軟式野球部、ハイキング部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部 文化系) 青空ライブ愛好会One☆ギター、跡見エコキャンパス研究会、跡見ウィンドオーケストラ部、映像映画愛好部、演劇部、合唱団、華道部、軽音楽部、広告研究部、紅茶クラブ、サイコロ倶楽部、茶道部、写真部、書道部、心理学検定部、美術部、文学研究部、放送文化研究部、ボランティアサークルさくら、漫画研究部、マンドリンクラブ、焼き物研究部 その他活動) 学生会本部、紫祭実行委員会、跡見学園女子大学防犯リーダー、母子救護所ボランティア				

(7) 学生納付金に関する情報

大学等	学部・研究科等	授業料		入学金		その他の費用徴収	
		金額	納入時期	金額	納入時期	金額	納入時期
大 学	文学部	371,000円	4月末日	300,000円	入学手続時	107,000円	4月末日
		371,000円	10月末日			95,000円	10月末日
	* 授業料に関しては、2年次から各学年ごとに10,000円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を超えた場合は適用しない。 【授業料減免制度の概要】 ・減免対象の種類、要件 ①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 ・必要手続等 ①休学願いの提出。教授会審議を経て学長が許可。 ②留学規程に基づく申請。教授会審議を経て学長が許可。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。						
	371,000円	4月末日	300,000円	入学手続時	107,000円	4月末日	
大 学	マネジメント学部	371,000円	4月末日	300,000円	入学手続時	107,000円	4月末日
		371,000円	10月末日			95,000円	10月末日
	* 授業料に関しては、2年次から各学年ごとに10,000円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を超えた場合は適用しない。 * 入学手続時にオリエンテーション費用を別途徴収する。(平成26年度実績17,000円) 【授業料減免制度の概要】 ・減免対象の種類、要件 ①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 ・必要手続等 ①休学願いの提出。教授会審議を経て学長が許可。 ②留学規程に基づく申請。教授会審議を経て学長が許可。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。						
	371,000円	4月末日	270,000円	入学手続時	92,000円	4月末日	
大学院	人文科学研究科	371,000円	4月末日	270,000円	入学手続時	80,000円	4月末日
		371,000円	10月末日			80,000円	10月末日
	* 授業料に関しては、2年次に10,000円増となる。 * 跡見学園女子大学を卒業した入学者は、入学金の半額を免除する。 【授業料減免制度の概要】 ・減免対象の種類、要件 ①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 ・必要手続等 ①休学願いの提出。研究科委員会審議を経て学長が許可。 ②留学規程に基づく申請。研究科委員会審議を経て学長が許可。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。						
	371,000円	4月末日	270,000円	入学手続時	92,000円	4月末日	
大学院	マネジメント研究科	371,000円	4月末日	270,000円	入学手続時	80,000円	4月末日
		371,000円	10月末日			80,000円	10月末日
	* 授業料に関しては、2年次に10,000円増となる。 * 跡見学園女子大学を卒業した入学者は、入学金の半額を免除する。 【授業料減免制度の概要】 ・減免対象の種類、要件 ①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 ・必要手続等 ①休学願いの提出。研究科委員会審議を経て学長が許可。 ②留学規程に基づく申請。研究科委員会審議を経て学長が許可。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。						
	371,000円	4月末日	270,000円	入学手続時	92,000円	4月末日	

(8) 学生支援と奨学金に関する情報

支援項目	組織名	機能
就職支援	就職部 就職課	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の就職指導及び相談 ・ATOMIインターンシップに関する事務 ・その他
進学支援	就職部 就職課	・他大学大学院への進学に関する相談
	入試部 入試課	・跡見学園女子大学大学院への進学に関する事務
履修支援	学務部 教務課	・履修オリエンテーション及びガイダンスの実施
	アカデミック・ アドバイザー	個々の学生の問題意識を顕在化させ、履修意欲を明確化させるための指導援助を行い、その学生に最適のコースの組み合わせを選択させ、あるいは個々の学生に固有のカリキュラムを幅広く解放された授業科目群の中から設計するに当たっての指導援助を行う。
生活支援	学務部 学生課	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の生活相談及び厚生補導 ・学生会活動及び課外活動の指導・助言 ・寮、下宿の斡旋 ・学生寮、合宿舎の管理運営及び合宿生の生活指導
国際交流支援	事務局 国際交流課	<ul style="list-style-type: none"> ・海外語学研修の実施 ・留学に関する相談 ・その他国際交流活動に関する相談
経済支援	学務部 学生課	・奨学金に関する事務
保健・衛生・メンタルヘルス等	学務部 学生課 保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の定期健康診断の実施 ・学生の健康相談 ・保健・環境衛生に関わる知識の普及 ・応急処置 ・カウンセリング ・その他

奨学金の名称	概要	金額（年額）	返還有無	採用人数	対象学年
【学業奨励賞】					
跡見花蹊記念奨学金	各学年・各学科の前年度学業成績上位者より選考し、表彰・奨学金給付	授業料の一学期分相当額	無	学部68名 大学院3名 (H25年度実績)	学部2～4年生 大学院2年生
跡見校友会一紫会 大学院奨学金	各専攻の前年度学業成績上位者より選考し、表彰・奨学金給付	授業料の一学期分の二分の一相当額	無	大学院3名 (H25年度実績)	大学院2年生
【修学援助奨学金】					
跡見学園女子大学 後援会修学援助奨学金	(第一種) 家計急変のため学費の納入ができない者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。 (第二種) 恒常的低収入などの理由により学費の納入が困難な者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。	(第一種) 授業料の一学期分 (第二種) 授業料の一学期分の半額	無	(第一種) 学部10名 (H25年度実績) (第二種) 学部46名 (H25年度実績)	学部1年次 秋学期以降 在籍者
跡見校友会一紫会 修学援助奨学金	(第一種) 家計急変のため学費の納入ができない者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。 (第二種) 恒常的低収入などの理由により学費の納入が困難な者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。	(第一種) 授業料の一学期分 (第二種) 授業料の一学期分の半額	無	(第一種) 学部2名 (H25年度実績) (第二種) 学部2名 (H25年度実績)	学部2年次 以降在籍者
日本学生支援機構 奨学金	人物・学業ともに優れかつ健康であって経済的理由のため修学困難な学生に対し奨学金を貸与。 (第一種) 返還時無利子 学力基準有り 本人の属する世帯の1年間の認定所得金額が、日本学生支援機構の収入基準額以下であること (第二種) 返還時有利子 学力基準は、学修に意欲があり学業修了見込みのあるもの 本人の属する世帯の1年間の認定所得金額が、日本学生支援機構の収入基準額以下であること	貸与月額 (第一種) 自宅生：30,000円 または54,000円 自宅外生：30,000円 または64,000円 (第二種) 30,000、50,000、 80,000、100,000、 120,000円から選択	有		
地方自治体の奨学金 ・その他の奨学金					

(2) 女子大学の実績

(**✳**) 印は平成25年度事業計画事業)

(1) 教育研究関係

1) 学部等の改革 (**✳**)

①平成22年度設置学科における完成年度 (**✳**)

イ) 文学部 現代文化表現学科

文学部現代文化表現学科を平成22年度に開設し、初年度は114名の1年生を迎えた。2年目となる23年度は116名、3年目となる24年度は118名、完成年度である25年度には128名の1年生を迎えた。

ロ) マネジメント学部 観光マネジメント学科

マネジメント学部観光マネジメント学科を平成22年度に開設し、初年度は108名の1年生を迎えた。2年目となる23年度は107名、3年目となる24年度は110名、完成年度である25年度には121名の1年生を迎えた。

②平成27年度に向けた新たな教育課程の準備 (**✳**)

イ) 既存学部学科教育課程の検討 (**✳**)

既存学科教育課程検討委員会の答申に基づき、平成24年10月3日の全学教授会において学長から示された検討事項について、全学学務委員会及び全学共通科目運営センターにおいて検討が加えられ、全学共通科目については、平成25年5月15日、全学共通科目運営センターから学長宛に「平成27年度教育課程案のうち全学共通科目課程表について(答申)」が提出された。また、既存学科の専門科目については、平成25年5月31日、全学学務委員会から学長宛に「平成27年度実施教育課程案のうち既存学科の専門科目について(答申)」が提出された。

これらを受け、平成25年11月20日の大学評議会において、平成27年度以降の全学共通科目及び既存学科の専門科目に係る学則別表変更案が了承された。

資格課程については、教育実習運営会議及び全学学務委員会における審議結果を踏まえ、平成26年2月19日の大学評議会において、平成27年度以降の学則別表変更案が了承された。

大学院マネジメント研究科については、同研究科及び全学学務委員会における審議結果を踏まえ、平成26年2月19日の大学評議会において、平成27年度以降の入学定員の変更に係る学則変更案及び学則別表変更案が了承された。

ロ) 新学部学科構想の策定 (**✳**)

平成25年11月20日の大学評議会において、新学部の専門科目に係る学則別表が了承された。

2) 諸規程の点検・整備 (**✳**)

「跡見学園女子大学大学評議会学部選出評議員選挙規程」、「跡見学園女子大学大学評議会における評議員たる附属教育研究組織の長の選考規程」、「跡見学園女子大学学長候補者選考規程」、「跡見学園女子大学学長候補者選挙管理委員会規則」、「跡見学園女子大学学部長選考規程」、「跡見学園女子大学学部長選挙管理委員会規則」、「跡見学園女子大学副学長選考規程」、「図書館資料収集方針」、「跡見学園女子大学附属心理教育相談所規程」、「跡見学園女子大学における公的研究費の不正使用防止に関する方針」、「跡見学園女子大学情報セキュリティ委員会規程」、「成績の評価及び単位の認定に関する規程」、「他の大学等における履修、大学以外における学修及び入学前の既修得単位等の認定に関する規程」、「跡見学園女子大学教育実習運営会議内規」、「跡見花蹊記念奨学金(学業奨励賞)規程」について改正し、平成25年度中に施行した。また、「跡見学園女子大学教職課程会議規程」を新たに制定し、平成25年度中に施行した。

「跡見花蹊記念奨学金(学業奨励賞)規程」について改正し、施行は平成26年4月1日とした。

「跡見学園女子大学大学評議会規程」、「跡見学園女子大学全学教授会規程」について改正し、施行は平成27年4月1日とした。

「跡見学園女子大学学則」、「跡見学園女子大学大学院学則」について、平成27年度入学者より適用する規程を制定した。

3) カリキュラムの点検 〈✿〉

①平成24年度教職課程認定大学等実地視察結果への対応

平成24年6月6日、新座キャンパスにおいて実施された文部科学省及び視察委員による本学の教職課程に対する実地視察結果を踏まえ、教職課程全体の方針及び教職課程に係るカリキュラム等について全学的な視点から検討・実施する会議体を設置するため、これに関連する諸規程等について、教育実習運営会議及び全学学務委員会において検討が加えられ、平成25年6月19日の大学評議会において、「跡見学園女子大学教育実習運営会議内規」が廃止され、「跡見学園女子大学教職課程会議規程」が新設された。また、平成26年2月12日の文学部教授会において、「跡見学園女子大学文学部教職課程会議内規」が廃止され、「跡見学園女子大学教職課程運営会議内規」が新設された。

4) 教育研究支援 〈✿〉

①教員評価結果の検証 〈✿〉

「教員の自己点検評価シート」による専任教員の教育・研究業績等の自己点検を引き続き実施し、全学自己点検・評価委員会において検証を行った。検証結果は、専任教員に対し現状把握と改善を目的としてフィードバックを行った。

②教育研究支援体制の充実 〈✿〉

イ) 跡見英会話サロン (4年目)

英語の授業で英会話スキルを修得した学生や海外語学研修に参加した学生に対して、その後も大学内でそのスキルを実践する場を大学として提供するため、ベルリッツ・ジャパン(株)との業務委託により「跡見英会話サロン」を開設し、学生に広く活用された。

③FD活動の継続実施 〈✿〉

全学教育・研究支援委員会、全学共通科目運営センター、各学部においてFDシンポジウム・FD講演会等を継続的に実施した。また、FD実践報告集として『FDジャーナル』(第12号)の編集作業を行った。

④学外研究費の獲得 〈✿〉

平成25年度科学研究費助成事業 (日本学術振興会)

	学部・職名	氏名	研究種目	研究期間	H25 直接経費(円)	研究課題名
新規	文学部助教	酒井智宏	基盤研究 (C)	H25-28	1,100,000	意味排除主義に基づく固有名と単称性に関する研究
	文学部准教授	酒井佳永	基盤研究 (C)	H25-27	900,000	気分障害患者の家族を対象としたテイラーメイド型支援プログラムの開発に関する研究
	マネジメント学部准教授	丹野忠晋	基盤研究 (C)	H25-27	1,200,000	医療用医薬品流通の経済分析
	マネジメント学部教授	山澤成康	基盤研究 (C)	H25-27	900,000	東日本大震災後の地域景気動向の把握-月次の都道府県別GDPの推計
	マネジメント学部助教	井口 衡	若手研究 (B)	H25-26	1,000,000	サプライチェーンを通じた環境負荷削減行動に関する実証分析
	兼任講師	鈴木武生	研究成果公開促進費	H25	1,600,000	A cross-linguistic exploration into the semantics of English, Japanese and Mandarin resultatives

	学部・職名	氏名	研究種目	研究期間	H25 直接経費(円)	研究課題名
継続	マネジメント学部教授	笠原清志	基盤研究 (B)	H23-25	3,700,000	バンクラデシュにおけるマイクロクレジットと貧困の削減
	文学部助教	阿部一哉	若手研究 (B)	H24-25	1,100,000	日独「句例」対訳データベースの構築
	文学部教授	山口豊一	基盤研究 (C)	H23-25	800,000	学校コミュニティでスクールカウンセラー等の心理職を活用するためのシステムの開発
	マネジメント学部准教授	禿あや美	若手研究 (B)	H23-25	500,000	小売業における職務分析・職務評価手法を用いたデータによる実現可能な均等待遇の検証
	マネジメント学部助教	山下 奨	若手研究 (B)	H23-25	640,000	キャッシュフローの配分計算としての会計上の利益計算と企業結合会計における測定問題
	マネジメント学部助教	内村理奈	基盤研究 (C)	H24-26	900,000	近世・近代フランスの服装規範にみられるジェンダー観

平成25年度（第38回）学術研究振興資金（日本私立学校振興・共済事業団）

	学部・職名	氏名	H25交付額 (研究費総額)	研究課題名
継続	マネジメント学部教授	宮崎正浩	300,000円 (1,036,000円)	生物多様性に配慮したサプライチェーンマネジメント

平成25年度環境経済の政策研究（環境省）

	学部・職名	氏名	研究期間	H25 研究費	研究課題名
継続	マネジメント学部助教	井口 衡	H24-26	709,487円	新たな市場メカニズムの国際比較及び二国間オフセット・クレジットメカニズムの排出削減効果等の分析

⑤国際交流の充実（国際交流課の設置）〈❖〉

平成25年4月より事務局に国際交流課を設立した。グローバル化が進む社会において、時世に適した教育を提供するため教学部門と連携を図り、全学的な国際交流活動を推進する。

具体的な取り組みとして、海外研修の質の向上、新規協定校の開拓、在学留学の基盤整備を進めている。

5) 学生支援 〈❖〉

①学生会による学長と語る会の実施

平成25年6月19日（水）、13時より新座キャンパス及び文京キャンパス（中継）にて開催され、「語学授業のクラス分けに関して」「実習期間の公欠日数見直しについて」「文京キャンパス2号館すべての階段への手すり設置について」等、要望が出された。

②一紫会、後援会による修学援助奨学金

イ) 一紫会による修学援助奨学金の継続 〈❖〉

	申請者	採用者
第一種	6	2
第二種	13	2

ロ) 後援会による奨学金の継続 〈❖〉

春学期

	申請者	採用者
第一種	4	4
第二種	18	18

秋学期

	申請者	採用者
第一種	8	6
第二種	32	28

一紫会ならびに後援会修学援助奨学金申請者のうち採用されなかった学生は、

春学期 第1種 0名 第2種 0名

秋学期 第1種 2名 第2種 8名であった。

③就職支援体制の全学的取り組み〈✳〉

就職活動を乗り越えてきた4年生内定者を「ATOMI就活サポーターズ」として組織、3年生への相談・アドバイス窓口とした。さらにサポーターズによる就職後の在学生支援を展望したOG会員としての組織化も進めている。

④防災関係

(両キャンパス共通)

・学生配布用「大地震対応マニュアル」を作成した。(平成25年度全学生に配布)

(文京キャンパス)

・平成25年9月24日(火)14時半より新座キャンパス及び文京地区同時開催による総合防災訓練を行った。

また、文京キャンパスでは総合防災訓練の後、文京区防災課及び東京都助産師会文京地区分会の協力を得て、学生ボランティアとともに母子救護所開設シュミレーションを行った。

・東京都震災対策(帰宅困難者対策)条例の施行に伴い、学園の消防計画を見直し、帰宅困難者対策に関する事項を追加した。これに伴い、学生が帰宅できず学内に滞留することを想定し、災害時防災備蓄用品として防災機器、防災用品、医療用品、衛生用品及び飲食料の備蓄を行った。

(新座キャンパス)

・災害時に学生がキャンパス内に3日間留まることができるよう、新座キャンパスに防災備蓄品を配置した。

6)ステークホルダーとしての保護者サービス〈✳〉

①保護者対象大学説明会の実施〈✳〉

前年度に引き続き、「保護者説明会」を5会場で実施した。

	年月日	会場	場所	参加者数
イ)学外会場	平成25年8月24日(土)	高崎会場	ホテルメトロポリタン高崎	27名
	平成25年8月25日(日)	新潟会場	ホテルオークラ新潟	8名
	平成25年8月31日(土)	宇都宮会場	チサンホテル宇都宮	19名
	平成25年9月1日(日)	仙台会場	仙台国際ホテル	10名
ロ)学内会場	平成25年10月19日(土)	学内会場	文京キャンパス2号館	397名

②学生の単位修得状況の通知

平成25年からは、秋学期に加えて、春学期の成績通知表についても保証人宛てに送付した。また、あらたに成績通知表の見方についての解説も加えることにより、学生の学修状況に関して、ステークホルダーに対するよりきめ細かい情報提供を行った。

③就職課の主催により3年生の保護者を対象とする「保護者のための就職セミナー」を開催した。

開催日 平成25年9月14日(土)

会場 文京キャンパスプロッサムホール

参加者数 196名

7)学園140周年、大学50周年記念行事の準備〈✳〉

①大学50周年史の刊行準備（50周年史編集準備室の設置）〈❖〉

平成25年度に「50周年準備室」を設置することを決めた。また、「大学50周年史編集委員会」を設置し、刊行準備に取りかかることとなった。

8) 学術・学会等関係（主な大会の開催等）

文京キャンパスの利便性の良さと良好な施設・設備が学術学会、団体等に支持され、多くの大会等が開催された。

主な学会等

学会および大会名など	開催年月日	参加者数
日本産業・組織心理学会	平成25年5月18日	約150名
日本こども健康科学会	平成25年6月15日	約50名
日本近代文学会	平成25年6月15日	約80名
日本ヘーゲル学会	平成25年7月28日、9月1日、29日、10月27日、11月24日 全5回	約50名
日本教育カウンセラー協会「いじめ予防」	平成25年9月8日	約150名
スクールカウンセリング協議会「いじめ防止対策推進法」	平成25年9月28日	約200名
アート・ドキュメンタリー学会	平成25年11月7日	約80名
書学書道史学会	平成25年11月9日～10日	約150名
中野重治の会	平成25年12月7日	約50名
まちなか再生支援事業実績報告会	平成26年2月6日	約150名
服飾文化学会	平成26年2月28日	約150名
日本産業カウンセリング学会	平成26年1月11日、12日、13日、2月8日、9日、15日、16日、22日、23日、3月1日、2日、8日、9日 全13回	約20名
日本民俗学会	平成26年3月9日	約200名

本学主催・後援による主なシンポジウムや講演会

会名など	開催年月日	参加者数
朗読コンテスト（共催：文京区）	平成25年10月6日	約400名
キャリアデザイン講演会（マネジメント学部）	平成25年10月24日	約400名

(2) 管理・運営 〈❖〉

1) 大学管理・運営の点検・整備 〈❖〉

大学評議会評議員の改選を行った。

跡見学園女子大学学長候補者選考規程等の諸規程を改正実施した。これに伴い、学長、副学長、学部長、全学共通科目運営センター長及び図書館長については、「任期中に学園定年を超えないものとする」こととした。

2) 事務組織の点検に基づく将来構想 〈❖〉

事務局の長の改選を行った。

事務局に国際交流課を設置し、2名の職員を配置。国際交流に関する業務を行うこととなった。

将来的に図書館と情報メディアセンターとの融合をはかるため、図書館長と情報メディアセンター長を兼務する人事を発令した。

(3) 施設設備・情報環境整備関係

1) 施設環境の整備

①事業計画の事業

* 女子大学関係のなかで「新)」は新座キャンパス、「文)」は文京キャンパスを示す。

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
新) 仮設校舎のリース継続・終了 平成18年度の新学科増（コミュニケーション文化学科及び生活環境マネジメント学科）に伴う学生数増加に対応するため、体育館脇駐車場に100名程度収容できる仮設教室3教室を3年リースで設置したが、本年度も本仮設教室利用が見込まれるため、設置を継続した（仮設教室：1号棟360.72㎡、2号棟180.36㎡）。なお、来年度は耐震工事の完了した1号館を活用することとし、2月を以てリースを終了した。	4,325	年間 (3月除く)
新) 2号館照明改修工事 設置から20年が経過し老朽化が進んでいたこと及び省エネ化を図るため、高効率照明器具（Hf管）への更新を実施した。	17,693	8～9月
文) 1号館裏擁壁改修工事 1号館と隣接地間の万年堀が老朽化し、大地震による倒壊のおそれもあったため、フェンスに切替えて更新を行った。	4,830	8月
新) 車両更新（作業用軽トラック） 購入から20年以上経過し老朽化が進行していたため、更新を行った。	779	5月
新) 体育館 舞台吊物設備修繕 建物竣工当初から約30年に亘る使用により老朽化したため、修繕を行った。	13,965	3月
文) 3号館天井付バスケットゴール撤去 非構造部材の耐震対策の観点から、殆ど使用されていない天井付バスケットゴールの撤去を行った。	1,617	1月
新) 体育館天井照明器具点検 大型吊り照明器具12基について吊ボルトナットの緩みや溶接の劣化状況を確認し、緩み箇所は増し締めを行った。	224	3月
茗荷谷交通ビル賃借料 茗荷谷交通ビルの定期建物賃貸借契約による年間費用。	16,200	年間

②それ以外の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
茗荷谷交通ビル 什器購入およびピクチャーレール増設 1階教室スペースで使用するテーブル・椅子等の購入、掲示のためのピクチャーレール増設を行った。	1,446	4月
茗荷谷交通ビル サイン工事 1階「跡見ギャラリー」、2階「さくらルーム（心理教育相談所 文京分室）」を明示するための看板設置を行った。	401	4月
新) 落雷被害復旧対応 7月23日に新座キャンパスを襲った落雷により、火災報知設備など弱電系統を中心として故障が生じたため、復旧対応を行った。なお、復旧費については全額火災保険金が支払われた。	3,048	7～2月
茗荷谷交通ビル 什器・備品等の購入 1階跡見ギャラリーで使用する展示用ショーケース、来客用ロビーチェア等を購入した。	522	8月
文) 2号館雑用揚水ポンプフート弁交換工事 雑用水揚水ポンプのエア混入について、雑用水槽内のフート弁錆付による密閉不足が疑われたため、交換を行った。	462	8月
文) 2号館手摺追加設置工事 階段上縁を手摺としていた東側階段および中階段一部について、学生からの要望によりポール状手摺を設置した。	1,197	8月
文) 案内看板設置 旧案内看板が老朽化したため、三井住友銀行茗荷谷研修所の敷地を借りて、看板を設置した。	施工費 662 設置料 14	8月

事業項目	事業費	実施時期
新) 野球グラウンドシェルター設置工事 公式戦を行うグラウンドとして熱射病対策および雨よけ等を考慮し、屋根付きのベンチを設置した。	1,859	8～9月
新) 浄化槽整備 浄化槽の安定的な運転を担保するため、劣化の見られる箇所、所定の年数に達した機器について修繕整備を実施した。	4,200	9月
新) 1号館1階幹線引き直し工事 電気年次点検において1号館1階幹線分岐盤～分電盤間に置いて絶縁不良が確認されたため、幹線の引き直しを行った。	1,964	9月
文, 新) 災害時防災備蓄用品の購入 災害時帰宅困難者に対応するための備蓄用品等を購入し、新座については保管用の物置を設置した。	8,695	12～2月
新) 3号館5教室電気時計設置工事 5教室で電波の受信状況が悪く電波時計に若干のずれが生じ、センター試験で使用する教室もあったため、4号館親時計から配線を引いて電気時計を設置した。	625	1月
文) 2号館上水加圧ポンプユニット基盤交換 2号館高層階で十分な水压を確保するための加圧ポンプユニットが故障したため、基板を交換した。	452	2月
新) 1号館1405室腰壁補修 1号館1405室の壁化粧板の劣化が著しかったため、張替を行った。	555	3月

2) 情報環境の整備

①事業計画の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
新) 図書館利用者用複合機更新 リース期間満了に伴い、機器を更新した。	1,224	4月
新) 1301・1302教室AV設備設置 あらたに一般教室にAV設備を設置した。	5,565	5月
新) 3号館WEB会議システム更新 リース期間満了に伴い、システムを更新した。	1,685	9月
新) 出席管理システム更新 リース期間満了に伴い、システムを更新した。	5,047	9月
文) 2号館印刷機更新 リース期間満了に伴い、機器を更新した。	4,715	9月

②それ以外の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
文) 基幹スイッチ用UPS機器更改 学園基幹スイッチ2台について、耐用年数に達したため更改した。	578	8月
新) 基幹スイッチ用UPS機器更改 学園基幹スイッチ4台について、耐用年数に達したため更改した。	972	8月
新) ハンディターミナル機追加購入 備品管理用ハンディターミナル機の不足のため、1台追加購入した。	300	9月
新) 図書館視聴覚ホール制御器更新 視聴覚ホールの照明装置を制御する機器に故障が発生したため、更新を行った。	483	10月

(4) デュアル・キャンパスの再検討 (✧)

- 1) 新座キャンパスと文京キャンパスの在り方について検討を行った。文京キャンパスにおいては、文京区への地域貢献として、「茗荷谷交通ビル」を借り受け開設した跡見ギャラリーを会場とした企画

展などを催し、地域の方々と学生たちの交流を深めることができる施設として定着させることが出来た。

- 2) 教育課程の分割については、現在の1・2年新座キャンパス、3・4年文京キャンパスとして継続することとした。

(5) 広報・学生募集

1) 学部学科理念の確認〈✳〉

平成24年度にまとめた「跡見学園女子大学 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「文学部 学位授与の方針」及び「マネジメント学部 学位授与の方針」について、学生便覧・大学公式サイトに掲載し、周知に努めた。

併せて、「跡見学園女子大学 カリキュラム編成の方針（カリキュラム・ポリシー）」、「跡見学園女子大学文学部 カリキュラム編成の方針」及び「跡見学園女子大学マネジメント学部 カリキュラム編成の方針」についても、学生便覧・大学公式サイトを通じて学内外に周知した。

2) 入学試験制度の再検討〈✳〉

①入試種別ごとの募集定員の変更

学科ごとの志願状況を踏まえ、各入試種別における募集定員の適正化を図った。

AO入試 155名→140名 推薦入試 325名→310名

一般入試 390名→420名

②指定校推薦入試の出願基準の変更

指定校推薦入試の募集定員変更に伴い、出願基準を変更し、出願者数の適正化を図った。

3) 「茗荷谷交通ビル」の活用〈✳〉

文京区と連携し、区民に開かれた教育複合施設「跡見ギャラリー」を平成25年4月30日（火）に文京キャンパスの近隣に開設した。本学園及び文京区の情報発信や文化活動としての役割だけでなく、地域の活性化と公共の福祉を推進することを目的とする。

「跡見ギャラリー」の1階には、ギャラリーと教室を設置し、ギャラリーでは、本学園に関する展示や本学学生・文京区民の作品展示等を行った。教室では、本学教員による区民向け講座等を開催した。また、すでに文京区で行われている「ふれあいサロン」も開催し、区民の方と本学学生が交流する各種イベントや教室を行った。

2階は、文京区の心のケアの地域拠点を目指し、本学の心理教育相談所の分室「ATOMI さくらルーム」を開設した。

(6) 学外団体との交流〈✳〉

1) 国内

①マネジメント研究科と立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科との交流〈✳〉

2007年に締結、2012年に更新した両大学院研究科間の単位互換制度を継続した。

②文京区内大学との交流〈✳〉

お茶の水女子大学附属図書館と相互利用に関する覚書を結び、図書館を相互利用している。(平成21年4月から継続)平成25年11月1日より新たに日本女子大学図書館と相互利用に関する協定を結び、図書館を相互利用している。

③埼玉県内大学との交流〈✳〉

十文字学園女子大学図書・情報センターと図書館の相互利用に関する覚書を結び、図書館を相互利用している。(実施は平成24年4月から継続)

④埼玉県私立大学連絡協議会の継続

埼玉県私立大学連絡協議会の諸活動を通じて、埼玉県及び県内大学との交流を推進した。

⑤彩の国大学コンソーシアム〈✳〉

「単位互換分科会」、「公開講座分科会」に継続して所属。

イ) 2013年彩の国大学コンソーシアム公開講座 ～知的、快適生活のススメ～

平成25年9月14日(土) 15:10～16:30

於: 川越西文化会館メルト

演題 「日本に魅了された画家たち—モネ、マネ、ファン・ゴッホを中心に—」

講師 文学部人文学科 村田宏教授

受講者数 86名

ロ) 公開講座分科会

平成25年12月5日(木) 於: 城西大学

ハ) 学長会

平成26年3月26日(月) 於: ベルセゾン志木

ニ) 実務者会

平成26年3月26日(月) 於: ベルセゾン志木

ホ) 単位互換制度

観光マネジメント学科専門科目1科目について、十文字学園女子大学の学生1名を受け入れた。

⑥高等学校との交流〈✿〉

高等学校での出張講義を24校で実施した。

2) 国外

①語学研修による海外の大学との交流およびその深化〈✿〉

英国国立スターリング大学と基本合意書を締結し、国際交流の一環として語学研修を実施した。

語学研修は今年度より「夏期」に加えて、新たに「春期」にも実施した。

夏期

・英国国立スターリング大学(イギリス)

期間 平成25年8月4日(日)～9月4日(水)

参加者 51名

春期

・英国国立スターリング大学(イギリス)

期間 平成26年2月11日(火)～3月31日(月)

参加者 20名

②上記以外の海外の大学との交流開拓〈✿〉

・ビシケク人文大学(キルギス共和国)と学術交流協定を締結し、交流事業の一環として日本文化に関する書籍を寄贈した。

・高雄餐旅大学(台湾)と友好協定書を締結した。

・ロイヤルローズ大学(カナダ)と基本協定書を締結した。平成26年度から夏期研修を実施する予定である。

(7) 地域との交流・地域貢献〈✿〉

1) 文京区との提携〈✿〉

①災害時における協力

平成24年9月7日に文京区と締結した「災害時における母子救護所の提供に関する協定」に基づき、文京キャンパスで母子救護所設置訓練を行った。

②生涯学習への協力

跡見ギャラリーにおいて、以下のとおり文京区と各種企画を開催したり、文京区主催の朗読コンテストにおいて本学が共催して実施するなど、多方面での連携活動を行った。

平成25年 4月30日 (火)	跡見ギャラリー開所式
平成25年 5月 1日 (水) ～ 6月 6日 (木)	特別展「学祖跡見花蹊と跡見学園の歴史」*1. 花蹊記念資料館にて開催中の「学園創立者跡見花蹊の横顔」に関連のパネル展示を中心とした内容。
平成25年 6月 8日 (土) ～ 8月 6日 (火)	企画展「中学校高等学校の繊維工芸作品展」 生徒作品(文部科学大臣賞等受賞作品)を中心とした展示。
平成25年 8月 9日 (金) ～ 8月14日 (水)	企画展「書道展」 大学書道部の作品展。
平成25年 8月20日 (火) ～ 9月24日 (火)	企画展「防災展」 学園の防災訓練、母子救護所訓練に関連した展示。
平成25年 9月26日 (木) ～11月 7日 (木)	企画展「跡見卒の鷗外夫人と鷗外宛年賀状で見る～森鷗外展」 文京区と共催の朗読コンテストと同時開催の展示。
平成25年11月11日 (月) ～11月16日 (土)	企画展「跡見ギャラリー～小さな秋の文化祭～」 文京区高齢者クラブ連合会、学園中高生徒、大学生との交流展示。
平成25年11月19日 (火) ～12月 9日 (月)	企画展「廉書会」 学園卒業生による作品展示。
平成25年12月12日 (木) ～12月14日 (土)	「文京区コミュニティバス：「B-ぐる」まつり2013 IN跡見」 ～跡見生が見つけた「文京の魅力と歴史・文化・観光資源」紹介～ (マネジメント学科 芝原ゼミ)
平成25年12月17日 (火) ～平成26年 2月17日 (月)	企画展「跡見学園と百人一首の世界」パネル展 特別イベント「かるたとり大会」
平成26年 2月20日 (木)	「卒業論文ポスター発表会」(臨床心理学科)
平成26年 2月24日 (月) ～ 3月 7日 (金)	さくら便り I 新座キャンパスの桜を紹介。
平成26年 3月11日 (火) ～ 3月18日 (火)	人文学科研究生 研究成果発表「書」
平成26年 3月22日 (土) ～ 3月28日 (金)	アカデミア講座受講生による展示「書」
平成26年 3月31日 (月) ～ 4月12日 (土)	さくら便り II 新座キャンパスの桜を紹介。
*1.常設展「学祖跡見花蹊と跡見学園の歴史」	

③文京アカデミア講座 (大学キャンパス講座の実施)

平成23年度から、地域社会(東京都文京区)とのいっそうの連携を図る観点から、(公益財団法人)文京アカデミーが主催する「文京アカデミア講座」(大学キャンパス講座)に下記の通り参加した。

①文京アカデミア講座 (前期)	
開催日	平成25年 5月 7日～5月28日 毎週火曜日 全4回
場 所	文京キャンパス2号館
テーマ	与謝野晶子と源氏物語
講 師	神野藤昭夫 名誉教授
②文京アカデミア講座 (前期)	
開催日	平成25年 6月 7日～平成25年 6月28日 毎週金曜日 全4回
場 所	文京キャンパス2号館
テーマ	古文書を読む～江戸の風刺錦絵・狂歌～

講師	奈倉哲三 教授 文学部人文学科		
③文京アカデミア講座（前期Ⅱ）			
開催日	平成25年8月6日（火）		
場所	文京キャンパス2号館		
テーマ	再生紙を作ろう		
講師	宮崎正浩 教授 マネジメント学部生活環境マネジメント学科		
④文京アカデミア講座（後期）			
開催日	平成25年10月31日～12月12日 隔週木曜日 全4回		
場所	文京キャンパス2号館		
テーマ	「日本再生のマネジメント」		
講師	崔 勝滉 教授 マネジメント学部マネジメント学科 宮崎正浩 教授 マネジメント学部生活環境マネジメント学科 山澤成康 教授 マネジメント学部マネジメント学科 笠原清志 教授 マネジメント学部マネジメント学科		
⑤文京アカデミア講座（後期）			
開催日	平成25年11月9日～平成25年12月7日 毎週土曜日 全4回		
場所	心理教育相談所文京分室（ATOMI さくらルーム）		
テーマ	人間理解を深める心理学		
講師	宮崎圭子 准教授 文学部臨床心理学科 松崎くみ子 教授 文学部臨床心理学科 宮岡佳子 教授 文学部臨床心理学科 野島一彦 教授 文学部臨床心理学科		
⑥文京アカデミア講座（後期Ⅱ）			
開催日	平成26年2月13日～平成26年3月6日 毎週木曜日 全4回		
場所	文京キャンパス2号館		
テーマ	私も書ける “隷書に挑戦！”		
講師	横田恭三 教授 文学部人文学科		

④茗荷谷図書館の文京区民への開放

平成22年度より継続実施

⑤「茗荷谷交通ビル」に心理教育相談所分室の設置

平成25年4月30日、「茗荷谷交通ビル」2階には、文京区の心のケアの地域拠点を目指し、本学の心理教育相談所の分室「ATOMI さくらルーム」を開設した。区民の家庭生活や育児などに関する相談を受ける「相談活動」、「不登校を考える親の会」や教員による心の問題に関する「講習会」を行った。また、「地域サービス」の活動として、心の健康に関するプログラムを実施した。第1回目としてシニアのコミュニティカフェを開催します。施設面では、子どものためのプレイルーム、面接室を設置している。

2) 新座市との提携〈❖〉

①新座キャンパスへの防災用備蓄倉庫の設置

平成24年12月19日に新座市と締結した「災害時における施設の使用に関する覚書」について、一部条項を追加し、平成26年2月13日に改めて締結した。また、本覚書に基づき、新座キャンパス体育館付近に防災用備蓄倉庫を設置した。

②花蹊記念資料館の開放

平成25年度は228日間、花蹊記念資料館を一般開放し、一般観覧者に展示物の鑑賞、資料の閲覧貸出、刊行物の頒布等を行った。

③新座キャンパスの開放

平成25年3月1日～5月15日、土日祝日を含む74日間（3月18日、4月3日を除く）、新座キャンパスを桜見学のために一般開放し、1,148名が来場した。一般来場者には「構内サクラガイド」を配布した。

④「子ども大学にいざ」への参加

新座市と連携し、同市在住の小学生を対象とした「子ども大学にいざ」の企画に参加。全4回中、第3回と第4回を下記のとおり本学新座キャンパスにおいて実施した。

第3回	開催日	平成25年11月9日（土）
	テーマ	「新座市のCMを作ろう！」
	講師	マネジメント学部マネジメント学科 イシカワカズ 教授
第4回	開催日	平成25年12月21日（土）
	テーマ	「ファッション・デザイン画を描いてみよう！」
	講師	マネジメント学部生活環境マネジメント学科 内村理奈准教授

3) 和光市との提携

和光市の姉妹都市であるロングビュー市（アメリカ合衆国・ワシントン州）にあるローワー コロンビア コミュニティカレッジ（LCC）の学長が、平成26年2月12日に来校した。

本学は和光市と本学との相互協力に関する包括協定（平成24年11月22日締結）に基づき、和光市からの申し入れにより対応にあたった。

<来訪者>

LCCより 学長 他2名、和光市 人権文化課より2名、合計5名

<対応者>

学長、副学長、全学共通科目運営センター長、図書館長、事務局長、事務局 国際交流課

<対応内容>

本学学長との面会、学内見学（図書館・花蹊記念資料館など）、学生との懇談（学生2名）

4) 会津若松市との提携

平成24年7月25日に締結した「学校法人跡見学園 跡見学園女子大学と会津若松市とのパートナーシップ協定」に基づき、連携強化のための活動として、平成25年4月13～14日に「アカデミックツアー」を開催。本学の学生・卒業生・教職員が会津若松市を訪れる特別企画ツアーを実施した。山崎理事長と「會津藩校 日新館」の宗像館長との対談も行われた。

(8) 点検評価 〈❖〉

1) 大学基準協会による評価に基づく改善 〈❖〉

大学基準協会からの指摘に対して行った改善例は以下の通りである。

- ①シラバスの記載の改善については、平成26年度シラバスの作成において、記載内容をよりの確にするためのチェック項目を設け、全科目の点検を行った。
- ②副学長の職務権限が大学運営全体にわたっている点について、引き続き中期的な視点から検討を加える予定である。

2) 平成27年度大学評価に対する準備作業の着手 〈❖〉

全学自己点検・評価委員会を中心に平成27年度大学評価の対応指針・スケジュールを策定し、下記を実施した。

- ①大学基準協会スタッフを講師に招き、自己点検・評価に関する学内研修会を開催した。
- ②自己点検・評価推進委員会を発足・開催した。
- ③点検・評価項目ごとに現状の確認・点検を実施した。

④大学基準協会へ提出する自己点検・評価報告書の第1稿を作成した。

(9) 図書館

1) 跡見学園女子大学の「百人一首コレクション」は、小倉百人一首から異種百人一首まで3,000点以上の資料を有し、貴重な写本、各種版本、卷子本、錦絵、かるた、双六、研究書など幅広いものであることから、1977年に国立国会図書館の『特殊コレクション要覧』に加えられ、一般にも日本有数のものとしての評価を得ている。

(10) 花蹊記念資料館

1) 企画展

平成25年4月1日(月)～5月31日(金)	学園創立者跡見花蹊の横顔 (花蹊の教育、写真で見る学園の歩み)
平成25年6月10日(月) ～8月3日(土)・8月18日(日)	第一展示室＝第4回 アトミ・アート展 第二展示室＝新収蔵品展 展示ギャラリー＝公開制作・ワークショップ
平成25年9月17日(火)～11月15日(金)	第一展示室＝跡見 廉書会 第7回OG作品展 第二展示室＝花蹊と李子一書の魅力
平成25年11月20日(水)～12月25日(水)	花蹊・李子・玉枝展
平成26年1月24日(金)～2月15日(土)	博物館実習生による模擬展示
平成26年2月17日(月)～3月8日(土)	大学クラブ活動展示(写真部・焼き物研究会)
平成26年3月20日(木)～3月31日(月)	花蹊・玉枝の書画展

(11) ATOMIアカデミック・インターンシップ

マネジメント学部の2年生、実践ゼミナール受講者404名が参加した。マネジメント学部は『アカデミック・インターンシップ2013 総括報告書』を作成した。

(12) 公開講座

一般者を対象として、次のとおり実施した。

1) 春学期(新座キャンパス)

コース	開催期間	受講者数
①教養コース 「高齢社会の安全・安心な暮らしを考える」	平成25年5月18日～6月1日 毎週土曜日 [全3回]	110名
②パソコンコース 「初めてのパソコンー文書作成とインターネットー」	平成25年4月27日(土)・5月11日(土) [2週連続講座]	29名
③語学コース 「英会話・中国語」	平成25年5月11日～7月13日 毎週土曜日 [全10回]	英会話 18名 中国語会話 20名
④古文書読解コース 「江戸のコミック、江戸のお笑い」 「様々な手紙」	平成25年5月11日～7月13日 毎週土曜日 [全10回]	9名

2) 春学期(文京キャンパス)

コース	開催期間	受講者数
①教養コース 「コミュニケーションの魅力」	平成25年6月8日～6月22日 毎週土曜日 [全3回]	154名

3) 秋学期（新座キャンパス）

コース	開催期間	受講者数
①教養コース 「<絵のなかの美女> ーイタリア、フランス、日本ー」	平成25年10月12日～10月26日 毎週土曜日 [全3回]	165名
②パソコンコース 「Excel入門」	平成25年 9月28日（土）・10月5日（土） [2週連続講座]	38名
③語学コース 「英会話・中国語会話」	平成25年10月5日～12月14日（11月2日は 除く） 毎週土曜日 [全10回]	英会話 24名 中国語会話 20名
④古文書コース 「初歩」	平成25年10月5日～12月14日（11月2日 は除く） 毎週土曜日 [全10回]	16名

4) 秋学期（文京キャンパス）

コース	開催期間	受講者数
①教養コース 「新しい観光デザインの試行と“人物 観光”」	平成25年11月9日～11月23日 毎週土曜日 [全3回]	106名

(13) 講演会・講習会

1) 全学共通科目運営センター

①第1回FD講演会

日 時 平成25年12月4日（水）14：40～16：10
場 所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール
テーマ 「グローバル人材育成教育について～立教大学のケースを踏まえて～」
講演者 笠原清志氏（本学マネジメント学部教授）
白井辞義氏（立教大学副総長 経営学部国際経営学科教授）

②第2回FD講演会

日 時 平成26年 2月12日（水）13：00～14：30
場 所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール
テーマ 「ボランティアなど『社会参加型授業』の可能性について
～慶應SFCにおける『問題発見・解決型人材』育成プログラムを中心に～」
講演者 櫻田周三氏（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任講師）

2) 文学部

①FDワークショップ

日 時 平成25年 7月24日（水）13：00～14：30
場 所 新座キャンパス2282教室
テーマ 「ゼミ授業の展開について」
発表者 田中浩史教授、伊藤稔准教授、森まり子准教授

3) マネジメント学部

①第1回マネジメント学部FD講演会

日 時 平成25年 7月3日（水）10：40～12：10
場 所 新座キャンパス図書館第二閲覧室
テーマ 「シラバスについて」
講 師 塩月亮子教授、丹野忠晋准教授、奥田喜道助教

②第2回マネジメント学部FD講演会

日 時 平成26年 2月5日（水）10：40～12：10

場 所 新座キャンパス3156教室
 テーマ 「シラバスについて」
 講 師 塩月亮子教授、宮崎正浩教授、村田あが教授

4) 人文科学研究科日本文化専攻

①第1回異文化交流フォーラム

日 時 平成25年9月14日(土) 15:00~17:00
 場 所 文京キャンパス2号館 M2301教室
 テーマ 「外から見た日本文学ー谷崎潤一郎を中心にー」
 講 師 ミコワイ・メラノヴィッチ氏(ワルシャワ大学教授)

②第2回異文化交流フォーラム

日 時 平成25年11月30日(土) 14:00~17:30
 場 所 文京キャンパス2号館 M2301教室
 テーマ 「イスラム文化(キルギス・エジプト)とイスラムから見た日本」
 講 師 ウメトバエワ・カリマン氏(キルギス・東京芸術大学大学院博士課程)
 ハガク・ラナ氏(エジプト・一橋大学大学院博士課程)

5) 第4回図書館主催講演会

日 時 平成25年6月12日(水)
 場 所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール
 テーマ 「大学図書館の課題と可能性ー建築の視点を中心に」
 講 師 植松貞夫教授(本学文学部)

6) 心理教育相談所主催講習会

◆一般対象講習会(全5回)

回	日 程	時 間	講 師	テ ー マ
1	7月9日(火)	10:40~12:10	宮崎 圭子	さわやかな自己表現のためのトレーニング
2	7月20日(土)	13:00~14:30	松寄くみ子	こころを癒す~紙とクレヨンを使って~
3	9月21日(土)	10:40~12:10	宮岡 佳子	老年期のこころの病気
4	9月28日(土)	13:00~14:30	野島 一彦	不登校の子どもの理解と対応
5	10月5日(土)	13:00~14:30	片野 智治	「明日(あした)」(“Tomorrow is another day”)

◆不登校を考える親の会

平成25年4月5日~平成26年3月15日まで、第1・第3金曜日に開催。定員:10名。

(14) 学生による授業評価の実施

1) 春学期

実施日 平成25年7月16日(火)、17日(水)、18日(木)、22日(月)、23(振・土)、26日(金)
 実施科目数 681科目
 履修登録者数 40,995名 回収数 31,639名 回収率 77.2%

2) 秋学期

実施日 平成26年1月16日(木)、17日(金)、21日(火)、22日(水)、25日(土)、27日(月)
 実施科目数 694科目
 履修登録者数 37,076名 回収数 27,366名 回収率 73.4%

(15) 広報関係及び懇談会等関係(✳)

1) 桜まつり

平成26年3月30日（土）一般市民・地域住民を対象とした「桜まつり」を開催した

2) 高校教員対象大学説明会（✿）

高等学校の進路指導教員を対象とした大学説明会を実施した。

開催日 平成25年6月4日（火）

開催時間 15:00～17:00

会場 文京キャンパス（M2304教室）

参加者数 60名

3) オープンキャンパス

<新座キャンパス>

開催日 平成25年 5月25日（土）

6月22日（土）

7月28日（日）

8月18日（日）

11月2日（土）

11月3日（日）

平成26年 3月29日（土）

<文京キャンパス>

開催日 平成25年 7月20日（土）

8月4日（日）

8月25日（日）

9月21日（土）

11月23日（土・祝）

参加者数 4,281名（高校生2,554名、保護者他1,727名）

4) 跡見学園中学校高等学校対象の大学説明会

跡見学園中学校高等学校の生徒・保護者を対象とした大学説明会を行った。

開催日 平成25年6月14日（金）

開催時間 15:10～16:30

会場 跡見学園中学校高等学校（跡見李子記念講堂、中高パソコン室）

参加者数 65名

5) 就職懇談会（✿）

企業の採用担当者を対象に、これから就職活動期を迎える学生も参加する就職懇談会を開催した。第一部は就職担当教職員による説明会と本学准教授による講演会、第二部は懇談会を実施した。

開催日 平成25年11月12日（火）

出席者数 206名（企業114社115名、学生71名、法人・大学20名）。

会場 文京キャンパスプロッサムホール、茗溪会館

6) 入試アドバイザー制度（✿）

この制度も今年度で15年目となり、入試アドバイザー（95名）による高等学校訪問（493校）を行い、志願者の確保に努めた。

(16) 入試状況

1) 平成26年度入試結果 (平成26年3月31日)

①大学院 (単位:名)

研究科	専攻	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
人文科学研究科	日本文化	8	3	3	3	2	2
	臨床心理学	12	40	37	18	17	15
マネジメント研究科	マネジメント	15	5	5	4	4	4
合計		35	48	45	25	23	21

②学部 (単位:名)

学部	学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
文学部	人 文	180	447	431	412	231	194
	現代文化表現	90	240 (1)	232 (1)	209 (0)	123 (0)	105 (0)
	コミュニケーション文化	120	236 (4)	228 (4)	214 (3)	116 (3)	98 (3)
	臨床心理	120	255	246	224	133	116
マネジメント学部	マネジメント	210	549	534	494	298	250
	観光マネジメント	90	304	296	202	126	114
	生活環境マネジメント	60	105 (1)	103 (1)	97 (1)	66 (1)	59 (1)
合計		870	2,136 (6)	2,070 (6)	1,852 (4)	1,093 (4)	936 (4)

* () は外数で編入学

(17) 修了者数・卒業者数

1) 平成25年度大学院修了者数

(単位:名)

研究科	専攻	修了者数
人文科学研究科	日本文化専攻	2
	臨床心理学専攻	15
マネジメント研究科	マネジメント専攻	1
合計		18

※9月修了生を含む。

2) 平成25年度大学卒業者数

(単位:名)

学部	学科	卒業者数
文学部	人文学科	191
	現代文化表現学科	95
	コミュニケーション文化学科	148
	臨床心理学科	118
	(計)	552

マネジメント学部	マネジメント学科	238
	観光マネジメント学科	96
	生活環境マネジメント学科	69
	(計)	403
合 計		955

※9月卒業生を含む。

(18) 平成25年度進路状況及び業種別就職状況（平成26年3月18日卒業生）

平成25年12月16日発「文部科学省における大学等卒業生の「就職率」の取り扱いについて（通知）」に基づき下記の通り算出。なお「就職率」公表に際しては「調査時点」「就職希望者」「就職者」などの定義や算出方法の明示が必要である。これにならい、下記の通り定義する。（定義は文部科学省の定義に準じている）

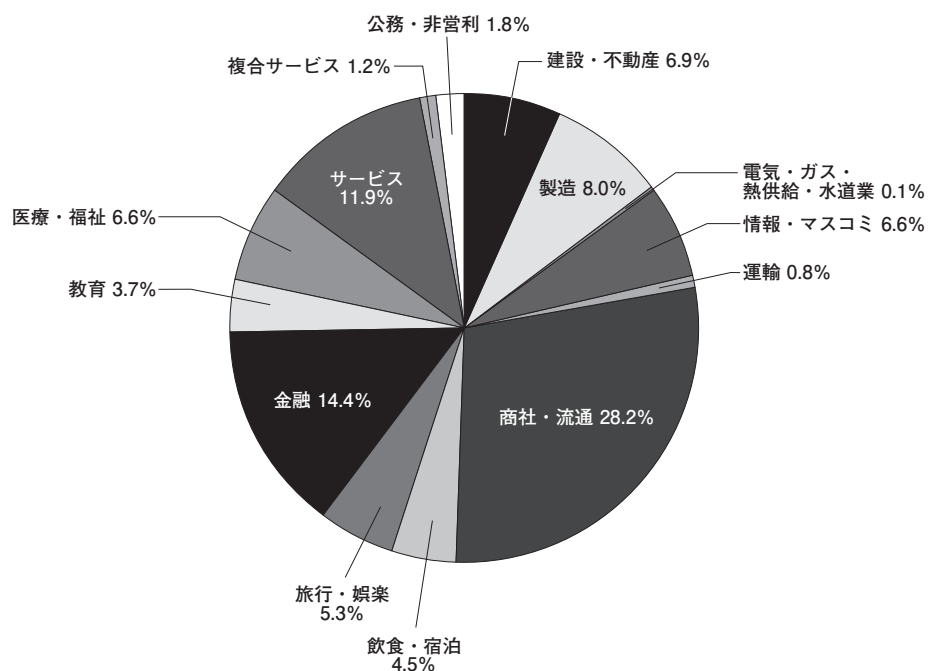
- ①就 職 率…就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもの。
- ②就 職 者…正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者。
- ③就職希望者…卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者。なお、「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- ④調 査 時 点…5月1日現在

【進路状況】（文部科学省基準「就職率」）

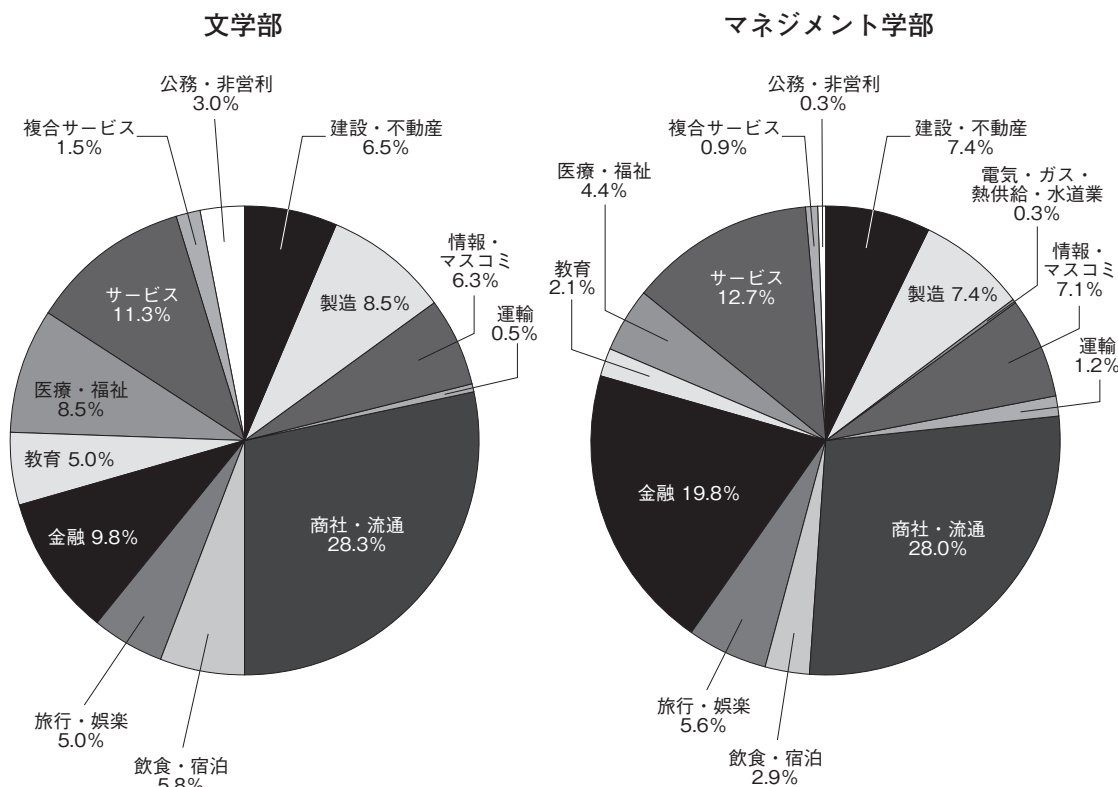
（単位：名）

学 部	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率 ※小数第二位を四捨五入	進 学	その他
文 学 部	541	431	400	92.8%	37	104
マネジメント学部	393	355	339	95.5%	6	48
合 計	934	786	739	94.0%	43	152

【業種別就職状況】



学部別



(3) 中学校高等学校の実績

〈〈✳〉 印は平成25年度事業計画事業)

(1) 教育・研究関係

1) 教育目的

学祖の目指した女性としての自律し自立するための知、情、意のバランスの取れた発達による全人教育を中高一貫教育の教育システムの中で実践した。

2) 教育目標 〈✳〉

<生活指導面>

中学生：基本的生活習慣の確立と自己分析（集団の中における自己の役割・個性）
 高校生：個性を伸張させる仲間との連携と人生計画をたてられるよう指導した。

<学習指導面>

中学生：学習に向き合う姿勢の継続と基礎学力の育成
 高校生：自己の進路目的に向けた学習応用力の養成

①教育目標の具体化～生活面

a 全校的：全生徒

担任による個人面談の実施（4月11日～18日・10月2日～10日）
 「生徒面談記録簿」を校務システムの中に取り入れ、全生徒の面談記録を残す。

体育祭（9月10日）

文化祭（9月14・15日）

音楽会（6月13日）ウィーン少年合唱団 於 東京芸術劇場

遠足（5月28日）・候補地を絞り、学年ごとに行動

中学1年 高尾山

中学2年 金時山
 中学3年 宝登山
 高校1年 昇仙峡
 高校2年 榛名湖周辺
 高校3年 森林公園

校外見学（11月12日） ・学年ごとに行動

- b 中学生 : コミュニケーションスキルの育成
 【ワークショップ内容】
 中学1年生 テーマ: 友達を増やそう
 ・友達づくりのはじめの一歩 ~跡見学園に入学してよかったと思えるような楽しい時間を過ごす
 ・力と智慧を合わせて ~協力の必要性・方法を知る 協力後の充実感を知る
 中学2年生 テーマ: 仲間のよさを見つけよう
 ・温かい心を届けよう① ~相手の状況に応じた、気持のよい誘い方を知る 自分の気持ちを伝える返事の仕方を知る
 ・温かい心を届けよう② ~ほめることで相手との関係がよくなることを知る ほめるとき、状況にあったほめる言葉を知る
 中学3年生 テーマ: 大人になる準備をしよう
 ・大人の世界へようこそ① ~自分で問題解決することができるようにする
 ・大人の世界へようこそ② ~自分の進路は自分で選択できるようにする
- c 悩みを持つ生徒に対して: ティームで取り組む (段階別に、担任、学年主任、保健主任、校務部長、副校長、カウンセラー)
- d 危機管理に関する見直し: 通常授業時、宿泊行事時、いじめ等生徒に対する効果的な「声かけ」を共有し、実施する
- e 防災訓練の改善
- f 防犯講習会の実施
- g 中学1年: 新入生出校日における講話の充実
- h 中学1年: 自然教室 北軽井沢にて3泊4日 (7月26日~8月7日)
 鬼押し出し園と溶岩樹型群・観察の森・孀恋郷土資料館・鎌原観音堂見学
- i 中学2年: 自然教室 丸沼3泊4日 (6月1日~7日)
 湯滝・竜頭の滝見学、日光白根山登山、尾瀬ヶ原散策
- j 中学3年: 修学旅行 広島2泊3日 (9月26日~28日)
 被曝体験者の方と一緒に平和記念公園にて碑めぐり、広島平和記念資料館見学、放射線影響研究所・広島大学原爆放射線医科学研究所・本川小学校訪問、大久野島フィールドワーク、似島フィールドワーク
- k 高校1年: オリエンテーション 箱根2泊3日 (4月28日~30日)
 職業調べ、外部講師・卒業生による講演、相談、グループワーク
- l 高校2年: 研修旅行 奈良・京都4泊5日 (9月24日~28日)
 東大寺・法隆寺・奈良公園・東寺など見学、クラス別・グループ別行動
- ②教育目標の具体化~学習面
- a 全校: 全校漢字テスト、読書感想文、夏期・冬期補講、業者による学力テスト (中学: ベネッセ 高校: ベネッセ 駿台予備校)、漢字検定・英語検定必修・数学検定 (希望者)
 ベネッセファインシステムを導入し、生徒の進路指導・学力の客観的な分析・入試の

予測や結果分析に利用

- b 全 校：年間を通して授業曜日数を平均化する
- c 全 校：積極的に外部のコンテスト等に出場するよう指導
- d 中学生：茶道裏千家の作法習得
- e 中学生：国語・数学・英語 遅れてしまった生徒対象にティームティーチングによる補習
- f 中学1年～2年：英会話クラス設置（7限目）
- g 中学1年～3年：英語の成績優秀者で希望する生徒に対し、英語夏期集中クラス設置
- h 中学1年～2年：8クラス
- i 中学3年：英語は1クラス2分割
- j 高校生：全学年「英語演習」必修
- k 高校生：英語特別クラスの設置
- l 高校1年：「英語演習Ⅰ」を学校設定科目とする
- m 高校3年：受験指導の徹底を図る
 - 例「国語表現」で充実した小論文指導を行う
- n 高校2年・3年：難関大学受験クラスの設置
 - 対 象：高校2年・3年生で希望する生徒
 - 日 時：4月～12月まで 週1回 7時限目相当
 - ク ラ ス：難関大学受験 国語（高校2年・3年）
 - 難関大学受験 理系数学（高校3年）
 - 難関大学受験 文系数学（高校3年）
 - 難関大学受験 数学（高校2年）
 - 難関大学受験 英語（高校2年・3年）
 - 授業内容：国公立・早大・慶大・理科大受験に対応するハイレベル
- o 国語科：能・狂言、歌舞伎、文楽、雅楽鑑賞
- p 社会科：浅草寺・隅田川周辺、江戸東京博物館見学、東京地方裁判所にて刑事裁判傍聴
- q 数学科：中学3年～高校1年 習熟度授業 2クラス2分割
- r 理 科：小石川植物園、葛西臨海水族園、上野動物園、鹿島技術研究所見学
- s 家庭科：テーブルマナー、江戸東京たても園見学
- t 音楽科：合唱コンクール
- u 英語科：スピーチコンテスト
- v 進路ガイダンス・キャリアガイダンスの充実を図るプログラムの作成（教務と進路の提携）
- w 個人の学習到達目標を6年のスパンとする学力試験への変更

③国際交流関係

夏期海外語学研修（7月22日～8月6日）

- ・オーストラリア、クイーンズランド州ブリスベン、15日間
- 現地校の授業参加、少人数英語授業受講

春期海外語学研修（3月23日～4月1日）

- ・アメリカ、マサチューセッツ州ボストン10日間
- FLSインターナショナル語学学校による英語レッスン
- ハーバード大学・マサチューセッツ工科大学訪問、キャンパスツアー、ワークショップ、
- 大学生徒との交流

フィンランドからの留学生受入

St.Rita's Collegeジャパンツアーに対するホームステイ受入

④勉強合宿「跡見学校」

夏期勉強合宿（8月27日～8月29日）

対象：高校2年生・高校3年生）

内容：数学に特化して実施

場所：INTERNATIONAL GARDEN HOTEL NARITA

春期勉強合宿（3月23日～3月25日）

対象：中学3年生

内容：英語・国語クラスと英語・数学クラスで実施

場所：INTERNATIONAL GARDEN HOTEL NARITA

⑤対教員

講師による研修の定例化

(2) 新規事業

①<生活面>

災害対応の徹底

- ・防災備蓄品のさらなる充実
- ・新入生への「災害対応マップ」、「災害対応マニュアル」活用の徹底
- ・東京私立中学高等学校協会との連携・跡見学園女子大学との連携
- ・平成26年度 盛夏服導入に向けた準備
- ・私中高協会「避難校ネット」開設

②<学習面>

a 高校2年生に難関大学受験クラスの設置

対象：高校2年生で希望する生徒

日時：1月以降 週1回 7時限目相当

クラス：難関大学受験 国語（1クラス）

難関大学受験 数学

難関大学受験 英語

授業内容：国公立・早大・慶大・上智大・理科大受験に対応し、ハイレベルの内容を含みながら、生徒の理解力を向上させる

費用：教材費のみ徴収

b 高校カリキュラムの全面的見直し ～コース制の設置

高校2年生

- ・私立文系
- ・国公立文系
- ・理系

高校3年生

- ・私立文系1
- ・私立文系2
- ・国公立文系
- ・私立理系
- ・国公立理系

③<国際交流>

海外語学研修の充実 ～St.Rita's Collegeとの姉妹校提携

- ・新たに春期海外語学研修（ボストン）実施（前ページ参照）

④<総合>

平成26年度入試振り返り

- ・入試の反省における資料の提示。手続放棄者と辞退者の識別
- ・学校説明会（7月）における平成26年度入試の問題解説

(3) 教員の教育力の向上をめざして

生徒の指導に当たる教員一人ひとりの能力を高め、教師集団としての教育力の向上を目指して次の目標を掲げる。

- ①教員の教科指導力の向上
- ②教員のクラス経営、保護者との対応等マネジメント能力の向上
- ③教員の協働意識の向上

上記の目標達成のために次の事業を行った。

a 教員のクラス経営、保護者との対応等のマネジメント能力向上のために

- ・中堅教員に対する実践力アップのための研修提供

授業学研究所主催 教員養成講座 [中級] 2時間×10コマ

第1回 生徒指導 2時間×2コマ

第2回 家庭学習管理 2時間×2コマ

第3回 保護者対応 2時間×2コマ

第4回 教育コーチング 2時間×2コマ

第5回 モティベーションアップ 2時間×2コマ

b 教員の協同意識の向上のために次の事業を実施した。

イ) 新入生出校日に合わせた新任教員への訓話

ロ) 各校務主任による新任教員への研修

ハ) 校長の新任教職員への個人面談

c 教員のクラス経営、保護者との対応等のマネジメント能力の向上 (✳)

d 講演会

高校3年 主催	
対 象	高校3年生 保護者
講 師	河合塾講師
月 日	平成25年4月27日 (土)
テーマ	2013年度入試の状況・受験生保護者としての心構え

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 保護者
講 師	河合塾講師
月 日	平成25年5月11日 (土)
テーマ	2013年度入試の状況・受験生保護者としての心構え

高校1年 主催	
対 象	高校1年生 保護者
講 師	河合塾講師
月 日	平成25年5月18日 (土)
テーマ	2013年度入試の状況・受験生保護者としての心構え

中学1年 主催 特別活動	
対 象	中学1年生 生徒
講 師	大塚警察署交通課
月 日	平成25年5月2日 (木)
テーマ	セーフティ教室

カウンセリングルーム 主催	
対 象	中学2年生 生徒
講 師	大熊 雅士氏 (東京学芸大学教職大学院特任教授)
月 日	平成25年5月23日 (火)
テーマ	ソーシャルスキルワーク

高校3年 主催 特別活動	
対 象	高校3年生 生徒
講 師	卒業生6名
月 日	平成25年6月6日 (木)
テーマ	OGによる進路講演会

高校3年主催 特別活動	
対 象	高校3年生 生徒
講 師	進路指導主任
月 日	平成25年6月13日 (木)
テーマ	進路指導主任による講話

校務部主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	台湾の大学教授4名
月 日	平成25年6月20日 (土)
テーマ	日本のホスピタリティの素晴らしさ

高校1年 主催 特別活動	
対 象	高校1年生 生徒
講 師	卒業生4名
月 日	平成25年6月20日 (木)
テーマ	特別活動

PTA連合会 主催	
対 象	保護者・卒業生・一般
講 師	嶋田 英誠先生 女子大学客員教授 中学校高等学校校長
月 日	平成25年6月22日 (土)
テーマ	中国の山水画を読み解く

カウンセリングルーム 主催	
対 象	中学1年生全員
講 師	大熊 雅士氏
月 日	平成25年7月10日 (水)
テーマ	第2回ソーシャルスキルワークショップ

カウンセリングルーム 主催	
対 象	中学2年担任集団・カウンセリングルーム係
講 師	霜村 麦氏 (メンタルクリニックあんどろ臨床心理士)
月 日	平成25年7月10日 (水)
テーマ	中2対象アンケート分析報告会

中学1年 主催	
対 象	中学1年生徒
講 師	養護教諭
月 日	平成25年7月16日 (木)
テーマ	衛生講話

中学1年 主催	
対 象	中学1年生徒
講 師	ベネッセ
月 日	平成25年9月26日 (木)
テーマ	中学1年の学習のしかたについて

高校3年 主催	
対 象	高校3年生 生徒
講 師	高3学年教師
月 日	平成25年10月10日 (木)
テーマ	進路関係指導

進路 主催	
対 象	高校2年生 希望生徒
講 師	大学の先生方7名
月 日	平成25年10月12日 (土)
テーマ	大学模擬授業

カウンセリングルーム 主催	
対 象	中学1年担任集団・カウンセリングルーム係
講 師	霜村 麦氏 (メンタルクリニックあんどろ臨床心理士)
月 日	平成25年10月25日 (金)
テーマ	中1対象アンケート分析報告会

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	ベネッセ
月 日	平成25年10月31日 (木)
テーマ	進路講演会

保健室 主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	校医 鈴木 真理先生
月 日	平成25年11月21日 (木)
テーマ	校医講話

入試・広報室 主催 「跡見学園卒業生を迎えてのシンポジウム」	
対 象	受験生・保護者・一般
講 師	卒業生パネリスト3名
月 日	平成25年11月30日 (土)
テーマ	My Life

カウンセリングルーム 主催	
対 象	中学3年担任集団・カウンセリングルーム係
講 師	霜村 麦氏 (メンタルクリニックあんどろ臨床心理士)
月 日	平成25年12月11日 (水)
テーマ	中3対象アンケート分析報告会

進路指導 主催	
対 象	高校3年生保護者
講 師	進路主任
月 日	平成25年12月13日 (金)
テーマ	センター試験説明会

校務部 主催	
対 象	教職員
講 師	大塚警察・小石川消防署
月 日	平成25年12月13日 (金)
テーマ	不振者侵入対策防犯訓練・AED救護講習

進路指導 主催	
対 象	高校3年生徒
講 師	進路指導主任
月 日	平成25年12月20日 (金)
テーマ	高3対象センター試験説明会

中学2年 主催	
対 象	中学2年生 生徒
講 師	関 千恵子氏 (被爆体験者)
月 日	平成26年1月30日 (木)
テーマ	中2平和学習の一環で被爆体験を聞く

高校1年 主催	
対 象	高校1年生 生徒
講 師	西尾 隆広氏 (ベネッセ)
月 日	平成26年2月6日 (木)
テーマ	進路実現に影響を与える高校1年生の過ごし方

中学2年 主催	
対 象	中学2年生 生徒
講 師	西尾 隆広氏 (ベネッセ)
月 日	平成26年2月6日 (木)
テーマ	中学2年生に学習意欲を持たせるため

中学3年 主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	佐野氏 (リクルート)
月 日	平成26年2月13日 (木)
テーマ	中学3年生キャリア教育

中学3年 主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	嶋田 英誠校長先生
月 日	平成26年2月20日 (木)
テーマ	校長訓話

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	学研講師
月 日	平成26年2月20日 (木)
テーマ	志望理由書の書き方

中学2年 主催	
対 象	中学2年生 生徒
講 師	嶋田 英誠校長先生
月 日	平成26年2月27日 (木)
テーマ	校長訓話

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	ベネッセコーポレーション担当者
月 日	平成26年2月27日 (木)
テーマ	ベネッセ講演会

中学3年 主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	進路指導主任
月 日	平成26年2月27日 (木)
テーマ	「職業調べ」に関する進路講演会

カウンセリングルーム 主催	
対 象	新中1、中2、中3各担任集団、及びその他希望者
講 師	大熊 雅士氏 (東京学芸大学教職大学院特命教授)
月 日	平成26年3月6日 (木)
テーマ	中学生対象ソーシャルスキルワークショップ指導法

高1高2 主催	
対 象	高1年生・高2年生 生徒
講 師	高3生徒4名
月 日	平成26年3月12日 (水)
テーマ	勉強方法の紹介やアドバイス、時間の使い方など

(4) 入試広報関係

1) 入試の日程及び各回募集人数 〈✳〉

平成26年度入試募集人数

第1回入試 2月1日 100名

第2回入試 2月2日 100名

第3回入試 2月3日 70名

2) 平成26年度新規事業

①入試作問基本方針の改定

②入学者非入学者アンケート実施

③ミニ説明会の開設

3) 平成26年度入試の反省と27年度に向けて

①平成27年度帰国生入試に関する検討

②平成27年度入試業務の更なる見直し

③入試問題の出題方針のさらなる改善を図る

④入学者非入学者アンケート結果を踏まえた広報活動の改善

4) 卒業生を迎えてのシンポジウムの継続

タイトル 跡見学園卒業生を迎えてのシンポジウム

テーマ My Life

日 時 平成25年11月31日 (土) 14:00~15:30

場 所 跡見李子記念講堂

パネリスト 上杉 栄美 (日本経済新聞社 人材・教育事業本部企業研修部 担当次長)

バンクス 祥恵 (青山学院大学 立教大学・大学院 上智大学 非常勤講師)

森川 美樹 (順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科助手)

住川 明子 (跡見学園中学校高等学校副校長、社会科教諭)

5) 学校説明会日程表

○本校主催学校説明会実績 (平成25年度4～1月)

	実施日	名 称	場 所	来場者 (組数)			備 考
				H25	H24	H23	
1	5/25 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	25	—	—	新規
2	6/8 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	19	—	—	新規
3	6/10 (木)	塾対象説明会①	跡見李子記念講堂	170	227	245	
4	6/22 (土)	第1回学校説明会	大アリーナ	378	185	400	H25は、説明会 とクラブ見学会 を同時開催
		クラブ発表会	本校	—	192	188	
5	6/29 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	23	—	—	新規
6	7/6 (土)	第2回学校説明会 七夕会	大アリーナ	236	453	428	
7	7/13 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	25	—	—	新規
8	9/7 (土)	第3回学校説明会—①	跡見李子記念講堂	127	157	300	H24は夕方開催
		第3回学校説明会—②	跡見李子記念講堂	51	—	—	
9	9/14 (土) ・15 (日)	文化祭個別相談 (2日間)	本校	40	48	36	
10	9/20 (金)	塾対象説明会②	跡見李子記念講堂	65	136	160	
11	9/21 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	28	—	—	新規
12	9/27 (金)	第4回学校説明会	跡見李子記念講堂	141	—	—	新規
13	10/5 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	27	—	—	新規
14	10/26 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	26	—	—	新規
15	11/9 (土)	第5回学校説明会	大アリーナ	501	563	553	
16	11/16 (土)	体験授業	本校	215	259	107	
17	11/22 (金)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	36	—	—	新規
18	11/30 (土)	シンポジウム	跡見李子記念講堂	128	100	80	
19	12/7 (土)	第6回学校説明会	大アリーナ	535	495	450	
20	1/11 (土)	第7回学校説明会	跡見李子記念講堂	63	—	—	新規
合計				2,859	2,815	2,947	

外部主催（於本校）学校説明会実績（平成25年度4～1月）

	実施日	名 称	場 所	来場者（組数）			備 考
				H25	H24	H23	
1	5/13（月）	サピックス学校説明会	跡見李子記念講堂	88	103	120	
2	5/30（木）	栄光ゼミナール学校説明会	跡見李子記念講堂	82	90	95	
3	6/1（土）	市進学院学校説明会	跡見李子記念講堂	42	42	60	
4	6/17（月）	早稲田アカデミー説明会	跡見李子記念講堂	128	85	—	
5	6/20（木）	TOMAS学校説明会	本校会議室	27	40	55	
6	6/27（木）	四谷大塚学校説明会	跡見李子記念講堂	114	122	157	
7	7/14（日）	四谷大塚模試における説明会	跡見李子記念講堂	300	—	—	今年は前期に実施
8	10/13（日）	四谷大塚模試における説明会	跡見李子記念講堂	300	300	300	
合計				1,081	782	787	

外部会場学校説明会実績（平成25年度4～1月）

	実施日	名 称	場 所	来場者（組数）			備 考
				H25	H24	H23	
1	4/29（祝）	女子校アンサンブル	学習院女子大学	400	400	400	
2	5/11（土）	Discover私立一貫教育 東京私立中合同相談会	国際フォーラム	100	130	130	
3	5/19（日）	Benesse進学フェア	国際フォーラム	59	62	50	
4	5/26（日）	TOMAS「中学入試相談会」	新宿NSビル	30	11	30	
5	6/13（木）	日能研「学校を知る会」	日能研浅草橋校	20	—	10	H24は実施なし
6	6/15（土）	上野松坂屋説明会	上野松坂屋	40	41	45	
7	6/16（日）	「受験なんでも相談会」 声の教育社	新宿NSビル	40	23	36	
8	6/23（日）	文京区私立中学高等学校 連合進学説明会	秋葉原UDX	17	25	21	
9	6/30（日）	日能研フェア	学習院大学	99	200	85	
10	6/30（日）	日能研フェア	慶応大学日吉	17	26	17	
11	7/3（水）	日能研「学校を知る会」	日能研下北沢校	9	—	10	新規
12	7/9（火）	日能研「学校を知る会」	日能研練馬校	40	—	—	新規
13	7/10（木）	日能研「学校を知る会」	日能研草加校	14	—	—	新規
14	7/14（日）	国大セミナー進学説明会	国大セミナー	4	5	—	H23は実施なし
15	7/27（土）	JOBA学校フェア	JOBA	15	4	5	帰国生対象
16	7/28（日）	帰国子女相談会in東京	日能研	—	8	8	今年度から廃止
17	7/31（水）	帰国生のための学校説明会・相談会	海外子女教育財団	5	11	8	帰国生対象

	実施日	名称	場所	来場者(組数)			備考
				H25	H24	H23	
18	8/17(土) ・18(日)	2013東京都私立学校展	東京私立中学高等学校協会	100	100	100	
19	9/8(日)	未来マップ説明会	北千住丸井11階	2	—	—	新規
20	10/19(土)	四谷大塚巣鴨校舎説明会	四谷大塚巣鴨校舎	15	25	20	
21	10/20(日)	東京私立中高池袋進学相談会	池袋サンシャイン	70	70	67	
22	11/3(日)	TOMAS主催東京城北地区・私立中学個別相談会	TOMAS池袋校	11	—	—	新規
合計				1,107	1,141	1,042	

(5) 施設設備・情報環境整備関係

1) 施設環境の整備

①事業計画の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
空調設備改修工事(第2期) 設置から20年経過し老朽化した校舎東側各教室天井のFCU、全熱交換機および一部パッケージエアコンの高効率機器による更新を行い、第2音楽室AHU(大型空調機)についてはオーバーホールを実施した。	56,438	7～8月 12～1月
校舎外壁・屋上防水改修工事(B工区・校舎南面) 外壁やガラスブロックに、クラック、浮き等が確認されたため、剥落落下による生徒の安全を確保するための補修工事を行い、屋上防水についても合わせて更新工事を実施した。	69,930	7～8月
電気時計更新(親・子) 老朽化していた大型電気子時計4台を交換し、親時計についても交換を行った。	2,100	12月
洋式トイレ化改修工事 平成22年度に半分程のブースを洋式トイレ化する工事を行ったが、利用状況から洋式の割合を一層増やすことが望ましいと考えられたため、一部和式を残して洋式化する工事を行った。	12,968	7～8月

②それ以外の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
実験室用丸椅子78脚更新 実験室用丸椅子78脚にがたつきなど利用上および安全上の不具合が確認されたため、更新を行った。	410	4月
中央階段手摺塗装補修 中央階段は利用頻度の多さから手摺部の劣化が進行していたため、表面やすり掛けの後、コーティング塗装を施した(鉄柵部塗装も実施)。	1,218	8月
校長室および第1・2応接室 壁紙張替 壁紙の劣化が進行していたため、張替を実施した。	462	8月
第1・2音楽室排煙窓4ヶ所開閉金物交換工事 高所排煙窓の開閉操作部(ハンドルおよびワイヤー)が老朽化し、閉鎖しきれない事象がたびたび生じていたため、操作部の交換を行った。	630	8月
1階入口付近廊下ダウンライト照明改修工事 入口付近廊下照明のダウンライトについて、機器の老朽化等により照度の低い箇所が確認されたため、十分な能力を有し、省エネ・長寿命なLED照明器具に更新を行った。	2,415	8月

事業項目	事業費	実施時期
消防法改正に伴う消火器更新 (96本) 平成23年の消防法改正に伴い、設置後10年を経過した消火器について更新を行った。	800	1月
ボイラー軟水装置 一次側給水配管交換工事 プール温水供給用ボイラーの一次側給水配管に腐食が確認されたため、配管交換工事を行った。	434	1月
雑用水系統 バルブ交換工事 雑用水系統の各階分岐箇所バタフライ弁が閉まり切らないことが確認され、今後の漏水事故対応に困難が予想されるため、仕切弁に交換した。	945	1月
第2美術室生徒机49台補修 長年の使用により机天板等に無数の傷や汚れがあったため、天板及び脚割れ補修を行った。	903	12～1月
プールろ過ポンプモーター交換 ろ過装置のポンプモーターがショートし、ろ過装置が運転できなくなったため、モーターの交換を行った。	452	3月
プールアルミ扉2ヶ所交換工事 長年の湿気・塩素の影響によりプールアルミ扉2ヶ所のピボットヒンジが腐食し、開閉に支障をきたしているため、プール水の影響を受けにくい丁番に仕様を変更して交換を行った。	1,722	3月

2) 情報環境の整備

①事業計画の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
第1・2LL実習室機器更新 リース期間満了に伴い、機器を更新した。	52,300	8月
図書館システムソフトウェア更新 Windows XPサポート終了(2014年4月)のため、システムソフトウェアを更新した。	4,069	8月
教材作成システム更新 リース期間満了に伴い、機器を更新した。	2,323	8月
複合機更新 (3台) リース期間満了に伴い、機器を更新した。(印刷室2台、教員室1台)	3,036	10月

②それ以外の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
図書館PCのOSアップグレード (14台) システム更新によりWindows7対応が可能となったため、XPへダウングレードしていた図書館PCのOSをアップグレードした。	399	8月
非常勤講師成績入力用PC導入に伴うLAN配線工事 成績入力用PCの新規設置に伴い、LAN配線の無かった工芸準備室・書道準備室に配線工事を行った。	399	10月
非常勤講師成績入力用PCの設置 (10台) 定期考査成績入力用PCを追加購入した。	966	10月

(6) 入試状況

1) 中学校平成26年度入試結果

①一般入試

(単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
270	1,268	677	384	255

②帰国生入試 (単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
若干名	39	39	36	8

(7) 卒業者数・進路状況

1) 高等学校

①平成25年度卒業者数（平成26年3月3日） 250名

②平成25年度卒業生（平成26年3月17日）大学等合格状況

4年制大学【国公立】合格者数 13名

4年制大学【私立】合格者数 760名

大学校 合格者数 2名

短期大学 合格者数 5名

専門学校 合格者数 1名

留学 0名

2) 平成25年度中学校卒業者数（平成26年3月19日） 272名

3. 管理運営の概要

(1) ガバナンス

権限、責任、監視体制を明確にし、学園全体の経営力強化、経営資源の拡充などに取り組むため、各種会議を開催した。

1) 平成25年度理事会・評議員会

①理事会

開催日	会議	議案	
平成25年5月21日	366回	1	平成24年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2	平成24年度跡見学園収支決算報告に関する件
		3	役職定年の延期に関する件
平成25年10月22日	367回	1	跡見学園高等学校学則の一部改正に関する件
		2	平成27年4月1日付で観光コミュニティ学部（観光デザイン学科：入学定員120名、コミュニティデザイン学科：入学定員80名）を設置する件
		3	評議員会構成及び教職員評議員選出要件の変更に係る学校法人跡見学園寄附行為の変更に関する件
		4	教職員評議員選出区分の改正に伴う学校法人跡見学園寄附行為施行細則の変更に関する件
		5	有価証券の活用に関する件
		6	平成25年度跡見学園収支補正予算に関する件
		7	平成26年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件
平成25年12月3日	368回	1	跡見学園女子大学学長の選任に関する件
平成26年3月25日	369回	1	学費改定に関する件
		2	跡見学園中学校学則の一部改正に関する件
		3	跡見学園高等学校学則の一部改正に関する件
		4	跡見学園女子大学学則の一部改正に関する件
		5	跡見学園女子大学大学院学則の一部改正に関する件

開催日	会議	議 案	
平成26年 3月25日	369回	6	跡見学園女子大学に新たに観光コミュニティ学部を設置することに伴う学校法人跡見学園寄附行為の一部変更に関する件
		7	平成26年度跡見学園事業計画に関する件
		8	平成26年度跡見学園収入支出予算案に関する件
		9	有価証券の活用に関する件
		10	理事長の兼職（公益財団法人等の役職）に関する件
		11	次期学長（重任）が現任の常務理事（第21期）の任期を満了まで継続することに関する件
		12	学校法人跡見学園資金運用規程及び学校法人跡見学園資金運用細則の制定に関する件
		13	教員の定年延期に関する件

②評議員会

開催日	会議	議 案	
平成25年 5月21日	318回	1	平成24年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2	平成24年度跡見学園収支決算報告に関する件
平成25年10月22日	319回	1	跡見学園高等学校学則の一部改正に関する件
		2	平成27年 4月 1日付で観光コミュニティ学部（観光デザイン学科：入学定員120名、コミュニティデザイン学科：入学定員80名）を設置する件
		3	評議員会構成及び教職員評議員選出要件の変更に係る学校法人跡見学園寄附行為の変更に関する件
		4	教職員評議員選出区分の改正に伴う学校法人跡見学園寄附行為施行細則の変更に関する件
		5	有価証券の活用に関する件
		6	平成25年度跡見学園収支補正予算に関する件
		7	平成26年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件
平成26年 3月25日	320回	1	学費改定に関する件
		2	跡見学園中学校学則の一部改正に関する件
		3	跡見学園高等学校学則の一部改正に関する件
		4	跡見学園女子大学学則の一部改正に関する件
		5	跡見学園女子大学大学院学則の一部改正に関する件
		6	跡見学園女子大学に新たに観光コミュニティ学部を設置することに伴う学校法人跡見学園寄附行為の一部変更に関する件
		7	平成26年度跡見学園事業計画に関する件
		8	平成26年度跡見学園収入支出予算案に関する件
		9	有価証券の活用に関する件
		10	理事長の兼職（公益財団法人等の役職）に関する件

2) 常務理事会

平成25年度は21回開催した。

3) 経営会議

平成25年度は35回開催した。

4) 理事長、顧問、常務理事、監事、公認会計士との意見交換会

平成25年度は平成25年 5月16日（木）及び平成26年 1月22日（水）に開催した。

(2) 自己点検・評価

事業計画に基づき、教育研究活動、管理運営等の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を踏まえ、不断の改善に努めた。

1) 大学 自己点検・評価の実施〈✳〉

大学では大学基準協会からの指摘に対して改善を行った。詳細についてはp.30 (8) 点検評価を参照のこと。

2) 中学校高等学校 学校評価アンケートの実施〈✳〉

平成24年度に引き続き、SiANシステム（学校改善アセスメントネットワークシステム）により、保護者・生徒・教員に学校評価アンケートを実施した。今年度はWebによるアンケート入力件数を増やすことができた。また、平成25年度中に実施したアンケートについて集計が完了した。今後は、この結果について分析をおこなう。

3) 職員人事評価制度実施に係る研修の実施〈✳〉

①新任の課長職のための評価者研修

日 時：5月20日（月）13：15～16：45、法人2階会議室

対 象：大学就職課長、会計課長代理

講 師：日本能率協会主任研究員

4) 職員人事評価制度実施に係る評価者会議の実施

①目標難易度設定会議

日 時：7月27日（土）9：00～12：00、法人2階小会議室

参加者：法人事務局長、大学事務局長、中高副校長

②一次評価者会議

【大学】

日 時：2月27日（木）9：15～15：00、文京2号館2707教室

対 象：大学事務局長（主宰者）、大学事務局次長、大学各課長（庶務・会計・学生は課長代理）、法人事務局長、法人総務部長、日本能率協会講師

【中高】

日 時：2月28日（金）9：00～11：00、法人2階小会議室

対 象：副校長（主宰者）、中高庶務課長、法人事務局長、法人総務部長、日本能率協会講師

【法人】

日 時：3月2日（土）9：15～12：40、法人2階小会議室

対 象：法人事務局長（主宰者）、法人総務部長、法人各課長、日本能率協会講師

③二次評価者会議

日 時：3月22日（土）10：00～12：30、法人2階中会議室

対 象：学長、副学長、大学事務局長、校長、副校長、法人事務局長、法人総務部長、日本能率協会講師

5) JMA 大学SDフォーラム

日本能率協会研修 25年度大学SDフォーラムへの参加（のべ44名）

セミナー名称	参加人数	東京開催
		開催日/開催時間
目標・計画設定セミナー	2名	5月21日（火）
業務改善入門セミナー	3名	6月13日（木）
タイムマネジメント基礎セミナー	3名	6月25日（火）
企画書・報告書の作成ノウハウ基本セミナー	2名	9月3日（火）

プレゼンテーションセミナー	3名	10月29日(火)
プロジェクトマネジメントセミナー	3名	12月9日(月)
ビジネスマナー入門セミナー	2名	5月27日(月)
対人折衝スキル基本セミナー	3名	7月8日(月)
ファシリテーションセミナー	3名	8月29日(木)
管理者のためのコーチングスキル基本セミナー	1名	10月1日(火)
部下指導・OJT入門セミナー	3名	12月2日(月)
ストレスマネジメント基礎セミナー	3名	11月21日(木)
高等教育政策と大学改革の動向研究セミナー	3名	8月2日(金)
学校法人会計・財務基礎セミナー	3名	7月23日(火)
学生募集広報基礎セミナー	2名	10月9日(水)
キャリア支援担当者セミナー	1名	11月27日(水)
大学改革の軌道と学生支援施策・施設整備研究セミナー (東洋大白山キャンパス訪問)	4名	10月22日(火)

(3) 情報公開

平成25年4月に学園ホームページをリニューアルし、「教育情報」「財務情報」をはじめ、大学、高等学校、中学校、法人の様々な情報が閲覧し易くなった。リニューアル後も4月に開設した跡見ギャラリーのページを新規に作成するなど、サイトのメンテナンスを適宜おこなっている。閲覧者の増加をめざし、アクセスログ解析や分析による更なるサイト改良は今後の課題となる。

(4) 施設設備・情報環境整備関係

1) 施設環境の整備

①事業計画の事業

○法人事務局関係
なし

○校外施設

・北軽井沢研修所

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
北軽井沢研修所	地下換気対策およびクロス張替工事 地下廊下クロスが経年の結露によりカビてしまっていたため張替し、結露の発生を抑えるため、脱衣所および地下廊下の換気対策工事を行った。	1,268	7月

②それ以外の事業

○校外施設

・北軽井沢研修所

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
北軽井沢研修所	植栽剪定 生垣イチイの繁茂による枝枯れや、電柱・屋根への高木の干渉が見られたため、剪定を行った。	420	6月

○その他

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
小日向	小日向テニスコートの駐車場への変更 短大校地から大学校地に移管されたのち、授業や部活動による定期的な利用が無くなっていた当該地について、駐車場への用途変更を文部科学省に届出た上で、既存施設の解体撤去および駐車場整備工事を行った。又、老朽化していた北側傾斜扉および擁壁の改修工事も行った。	解体費 4,725 整備費 7,140	10～12月

2) 情報環境の整備

①事業計画の事業

○法人事務局関係

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
法人	マイクロソフトライセンス包括契約締結 管理コストの削減のため、現状のライセンス形態を見直し、包括ライセンス契約を締結した。	3,267	7月
	クライアントPC更新 リース期間満了に伴い、機器を更新した。	5,594	12月

②それ以外の事業

○法人事務局関係

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
法人	通勤費精算管理システムバージョンアップ 人事課で使用している通勤費精算管理システムがWindowsXPのサポート終了により平成26年3月末にてサポートが終了となること、使用するPCのリプレイス(12月)によりOSがWindows7に移行し現行システムが利用できなくなることから、システムをバージョンアップした。	1,775	12月
	財務・寄付金・校友会システムインストール設定作業 クライアントPC更新にあたり、業務に必要な各システムのソフトウェアを再インストール設定した。	735	12月
	ネットワーク非常時対策設定作業 本学ネットワークにおける災害時の発電機を利用したネットワーク接続について、接続確認作業を実施した。	315	1月

(5) 跡見学園規定等の変更

1) 学園関係

(1) 「寄附行為」及び「寄附行為施行細則」の一部改正(評議員構成等の改正関係)

平成25年10月22日(火)理事会にて了承

施行日 平成26年4月1日

認可日 平成26年2月5日

(2) 「寄附行為」の一部改正(新学部設置関係)

平成26年3月25日(火)理事会にて了承

(3) 「組織規程」の一部改正(中高校務部長の所管範囲、学年主任・教科主任の位置付け)

平成26年3月11日(火)経営会議にて了承

施行日 平成26年4月1日

(4) 「非常勤講師給与規定」の一部改正(外国人講師給の廃止に係る現職の措置)

平成25年9月24日(火)経営会議にて了承

施行日 平成26年4月1日

- (5) 「外国出張旅費に関する内規」の一部改正（主任級への対応、都市名等所要の改正）

平成25年9月9日（月）経営会議にて了承

施行日 平成25年10月1日

- (6) 「学校法人跡見学園資金運用規程」及び「同資金運用細則」の制定

平成26年3月25日（火）理事会にて了承

施行日 平成26年4月1日

- (7) 「学費」の改定

平成26年3月25日（火）理事会にて了承

施行日 平成27年4月1日

- (8) 「北軽井沢研修所の料金表」の一部改定

平成26年2月25日（火）経営会議にて了承

施行日 平成26年4月1日

- (9) 「文京地区消防計画」の一部改正（帰宅困難者対応関係）

平成25年9月9日（月）経営会議にて了承

施行日 平成25年9月9日

2) 大学

- (1) 「学長候補者選考規程」「学長候補者選挙管理委員会規則」の一部改正

平成25年7月3日（水）全学教授会にて了承

施行日 平成25年7月3日

- (2) 「一般入試B方式の検定料」の改定

平成26年3月11日（火）経営会議にて了承

施行日 平成26年4月1日

- (3) 「女子大学学則」の一部改正（新学部・新学科、入学定員、教育課程、学費改定等）

平成26年3月25日（火）理事会にて了承

施行日 平成27年4月1日

- (4) 「大学院学則」の一部改正（入学定員、教育課程、学費改定）

平成26年3月25日（火）理事会にて了承

施行日 平成27年4月1日

- (5) 「副学長選考規程」の一部改正

平成25年7月17日（水）大学評議会にて了承

施行日 平成25年7月17日

- (6) 「学部長選考規程」の一部改正

平成25年7月17日（水）大学評議会にて了承

施行日 平成25年7月17日

- (7) 「学部長選挙管理委員会規則」の一部改正

平成25年7月17日（水）大学評議会にて了承

施行日 平成25年7月17日

- (8) 「大学評議会における評議員たる附属教育研究組織の長の選考規程」の一部改正

平成25年7月17日（水）大学評議会にて了承

施行日 平成25年7月17日

- (9) 「大学評議会学部選出評議員選挙規程」の一部改正

平成25年7月17日（水）大学評議会にて了承

施行日 平成25年7月17日

- (10) 「跡見花蹊記念奨学金（学業奨励賞）規程」の一部改正（修得単位数関係）

平成25年7月17日（水）大学評議会にて了承

施行日 平成26年4月1日

(11) 「教職課程会議規程」の制定

平成25年6月5日（水）大学評議会にて了承

施行日 平成25年6月5日

(12) 「成績の評価及び単位の認定に関する規程別表第二」の一部改正（感染症と出席停止関係）

平成25年6月5日（水）大学評議会にて了承

施行日 平成25年6月5日

(13) 「図書館資料収集方針」の一部改正（名称変更、百人一首関係）

平成25年6月25日（火）図書館運営委員会にて了承

施行日 平成25年6月25日

(14) 「公的研究費の不正使用防止に関する方針」の一部改正

平成25年4月3日（水）大学評議会にて了承

施行日 平成25年4月

3) 中学校高等学校

(1) 「高等学校学則」の一部改正（教育課程関係）

平成25年10月22日（火）理事会にて了承

施行日 平成26年4月1日

(2) 「高等学校学則」の一部改正（中高一貫校関係）

平成26年3月25日（火）理事会にて了承

施行日 平成26年4月1日

(3) 「中学校学則」の一部改正（中高一貫校関係）

平成26年3月25日（火）理事会にて了承

施行日 平成26年4月1日

(6) 女子大学次期学長選任及び所轄省庁への届出について

平成26年3月31日付けで任期満了となる跡見学園女子大学学長の次期学長として山田徹雄教授を選任（発令は平成26年4月1日）することが第368回理事会（平成25年10月22日開催）で承認されたため、所轄省庁へ届出を行った。

なお、任期は平成26年4月1日から平成30年3月31日とする。

(7) 調査

1) 小石川税務署による税務調査

調査年月日 平成25年10月30日（水）～11月1日（金）

調査内容 平成21年2月10日～平成25年9月10日の期間の源泉所得税についての調査が行われた。

調査機関 小石川税務署

2) 消費税の適正転嫁に関する中小企業庁の立ち入り検査

調査年月日 平成26年1月30日（木）

調査内容 消費税率の8%導入に先立ち、消費税を含めて取引先との一連の価格の交渉や情報の交換が法に基づき適正に行われているか、書面に基づき検査・確認が行われた。

調査機関 中小企業庁 係官2名

3) 平成25年度東京都財政援助団体監査

調査年月日 平成25年10月25日（金）

調査内容 平成23・24年度に東京都より交付された補助金について、適切に使用されているか施設視察及び書類審査により監査がおこなわれた。

調査機関 東京都監査事務局

4) 優良防火対象物認定に係る現地調査及び訓練（中学校高等学校）

調査年月日 平成25年9月24日（火）

調査内容 学園総合防災訓練に合わせて、優良防火対象物の認定更新に係る現地調査ならびに自衛消防隊の訓練が行われ、11月1日の再確認の結果、12月6日に優良防火対象物としての認定が更新された。

調査場所 中学校高等学校

調査機関 小石川消防署

5) 平成25年度補助金の執行に係る現地検査

調査年月日 平成26年3月6日（木）

調査内容 平成25年度補助金交付前に、事業計画に従い整備されたかどうかの現地調査が行われた。

①平成25年度私立学校施設整備費補助金（私立高等学校等施設高機能化整備費）：中
高校舎南面外壁・屋根補修工事、中高空調設備改修工事（第2期）

②平成25年度私立大学等研究設備整備費補助金（私立高等学校IT教育設備整備推進事
業費）：中高LL実習室リプレイス

調査場所 中学校高等学校校舎

調査機関 東京都生活文化局私学部私学振興課助成係

6) 会計検査院平成26年実地検査（対象年度：平成23・24年度）

調査年月日 平成26年1月21日（火）、22日（水）

調査内容 平成23・24年度に係る経常費補助金及び文部科学省からの補助金について、適切に執行されているか、根拠資料をもとに実地検査が行われた。

調査会場 大学文京キャンパス

調査機関 会計検査院第4局文部科学省検査第一課 3調査官（立会人：日本私立学校振興・共済事業団補助金課）

(8) 学園広報関係（〈※〉印は平成25年度事業計画事業）

1) 学園情報誌『ブロッサム』の発行（17,401,292円）〈※〉

学園広報誌として7月に35号（特集：～社会で活躍する女性になるために～キャリアの第一歩）を67,000部、1月に36号（特集：世界とつながる 世界にはばたく 跡見学園）を65,000部発行した。主な配布先は、生徒・学生、卒業生、学園関係者、高等学校、企業等である。なお、35号には学園の財務情報を公開したほか、各号とも各設置校の最新情報を掲載した。

2) 『跡見学園報』の発行（675,150円）

学園報第56号を7月に発行した。また同号「別冊」において、平成24年度事業報告及び平成25年度事業計画を公表した。平成26年1月、学園報第57号を発行した（のべ2,000冊）。

3) Web環境の整備〈※〉

- ・学園ホームページに、平成25年7月29日（火）付で、平成24年度事業報告書・平成25年度事業計画書を公開した。また、学園情報誌『ブロッサム』についても35号は平成25年7月29日（火）付、36号は平成26年1月23日（木）付で学園ホームページに公開した。
- ・校友メールマガジン「あとみネット」を、No.598からNo.634まで配信した。（メールマガジン配信システム利用料：378,000円）
- ・4月にリニューアルした学園3機関（中高・大学・法人）のホームページについて、より情報を探しやすく使いやすくするための改修を行うとともに、新たに跡見ギャラリーのページも開設した。（改修・新設費用：1,079,505円、保守費用：573,300円）

・前年度に引き続き、早期化する学生募集の活動に対応するため、「進学ネット」へ参画した。

4) イメージ広告等

①交通広告 (7,944,090円) 〈✳〉

昨年度に引き続き、「A」のロゴ（デュアルキャンパス）をメインに使用した学園広告ならびに広く一般に「跡見」の知名度を上げるための広告を、以下の通り掲出した。

また、本年度は初の試みとして、3月の高校卒業式ならびに大学卒業式に合わせた「卒業おめでとう」広告を、学園下車駅の丸ノ内線茗荷谷駅ならびに大学の卒業式会場である文京シビックホールの最寄駅である丸ノ内線後楽園駅において展開した。

企画内容	実施時期	掲出路線・駅等
東急エチケットボード	平成25年4月1日～平成26年3月31日 (平成26年4月1日以降も継続中)	自由が丘・二子玉川・あざみ野・日吉・綱島（綱島については平成25年8月21日まで）
大学連合ポスター	平成25年7月1日～7月7日	JR東海道線窓上、小田急全線中吊
	平成25年7月1日～7月14日	西武全線・東武東上線窓上
JR武蔵野線、東武東上線、西武線全線大学連合企画	平成25年4月1日～平成26年3月31日	沿線大学案内窓上
都バス大塚車庫前停留所車内アナウンス	平成25年7月1日～平成26年3月31日 (平成26年4月1日以降も継続中)	都02（大塚駅～錦糸町駅） 都02乙（池袋駅～一ツ橋）
高校卒業式（3/3）及び大学卒業式（3/18）向け企画	平成26年2月28日～平成26年3月6日 平成26年3月3日～平成26年3月9日	丸ノ内線茗荷谷駅駅貼りポスター (高校卒業式向け)
	平成26年3月14日～平成26年3月20日 平成26年3月17日～平成26年3月23日	丸ノ内線茗荷谷駅駅貼りポスター (大学卒業式向け)
高校卒業式（3/3）及び大学卒業式（3/18）向け企画	平成26年3月17日～平成26年3月23日	南北線後楽園駅駅貼りポスター (大学卒業式向け)
	平成26年3月12日～平成26年3月18日	丸ノ内線後楽園駅ホームエスカレーター壁面臨時パネル (大学卒業式向け)

②グッズ制作 (10,917,585円) 〈✳〉

前年度方針を継承し、ミンティア、ブロック型付箋、フリクションカラーズ、フリクションライト、テキストサーファージェル、夏の猛暑対策用の香り付きうちわ（オリジナルデザイン、ローズの香り付き）およびオリジナルラベルのナチュラルウォーターを制作した。

③Bーぐるバス／都営バス時刻表 (441,000円)

文京区のコミュニティバス（Bーぐるバス）時刻表（日本経済新聞折込広告と読売新聞折込広告）と都営バス時刻表（読売新聞折込広告）に学園広告を掲出した。

④その他新聞・雑誌・Web等の広告掲出 (12,828,425円) 〈✳〉

受験生・保護者が見ることを想定し、新聞の連合広告・受験雑誌等に広告を掲出した。

⑤跡見オリジナル瓦煎餅の制作 (57,120円)

受験生のみならず塾や企業等にも広く学園知名度をアップさせることを目的とし、跡見学園後援会の協力も頂き、跡見オリジナルの瓦煎餅（銀座松崎煎餅製）を制作・配布した。

⑥オリジナルテーブルクロス・パイプ椅子カバー、手旗の制作 (426,510円) 〈✳〉

オープンキャンパスや学校説明会、外部の説明会等のイベント時に使用するオリジナルのテーブルクロスとパイプ椅子カバー、手旗を制作した。

5) 駅看板 〈✳〉

従来からの16駅および昨年から加わった丸ノ内線池袋駅の駅看板について、継続して掲出した。(丸ノ内線駅看板年間掲出費用：1,020,804円)

6) 駅看板ほか 〈✳〉

学園及び大学の広報の一環として、駅看板掲出（13駅）及び、文京区高齢者クラブ広報誌への広告

の掲載を行った。(看板掲出費用等：10,912,662円)

企画内容	実施時期	掲出路線・駅等
駅看板	平成25年4月1日～平成26年3月31日 (平成26年4月1日以降も継続中)	東京メトロ 丸ノ内線 茗荷谷駅・有楽町線 護国寺駅・副都心線 渋谷駅 JR 武蔵野線 (北朝霞駅・新座駅・新松戸駅・西国分寺駅・武蔵浦和駅・新秋津駅)、中央線 (御茶ノ水駅)、京浜東北線 (南浦和駅)、総武線 (西船橋駅) 東武東上線 志木駅
ナビタ (駅周辺案内)	平成25年4月1日～平成26年3月31日 (平成26年4月1日以降も継続中)	東京メトロ有楽町線 護国寺駅
消火栓標識	平成25年4月1日～平成26年3月31日 (平成26年4月1日以降も継続中)	東京メトロ有楽町線 護国寺駅付近の消火栓
雑誌広告	平成25年7月1日発行	文京区高齢者クラブ広報誌「文高連広報」第38号

(9) 各種補助金の獲得について

交付元	補助金名	対象	内容	交付額※
文部科学省	平成25年度 私立学校施設設備費補助金	中高	空調設備改修工事 (第2期) (FCU・全熱交換器更新工事)	15,032,000円
文部科学省	平成25年度 私立学校施設設備費補助金	中高	校舎南面外壁・屋根補修工事	14,148,000円
東京都 私学財団	平成25年度 私立学校非構造部材耐震対策工 事費助成事業	中高	校舎南面外壁・屋根補修工事	14,147,000円
文部科学省	平成25年度 私立高等学校等IT教育設備整備 推進事業	中高	第1・2LL実習室機器入替	20,000,000円
東京都	平成25年度 結核予防費都費補助金	大学 高校	健康診断 (胸部X線) を受診した1年 生及び編入生に対する人数分の補助	427,861円
東京都	平成25年度 私立学校経常費補助金	中高	一般補助及び特別補助	450,013,400円
私学事業団	平成25年度 私立大学等経常費補助金	大学	一般補助及び特別補助	207,762,000円
私学事業団	平成25年度 学術研究振興資金	大学	研究課題「生物多様性に配慮したサブ ライチェーンマネジメント」研究代表 者 宮崎正浩 (マネジメント学部教授)	300,000円

※実績額の確定は次年度となる場合がある。

Ⅲ. 財 務 の 概 要

1. 平成25年度跡見学園収支決算について

(1) 資金収支計算書

資 金 収 支 計 算 書

平成25年4月1日から

平成26年3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,532,848,000	5,477,956,400	54,891,600
授業料収入	3,940,461,000	3,900,014,900	40,446,100
入学金収入	508,975,000	509,172,000	△ 197,000
実験実習料収入	25,438,000	22,925,500	2,512,500
施設設備資金収入	989,898,000	977,984,000	11,914,000
冷暖房費収入	68,076,000	67,860,000	216,000
手数料収入	98,650,000	100,382,180	△ 1,732,180
入学検定料収入	92,250,000	93,600,000	△ 1,350,000
証明手数料収入	2,340,000	2,159,600	180,400
大学入試センター試験実施手数料収入	4,060,000	4,622,580	△ 562,580
寄付金収入	162,980,000	147,874,604	15,105,396
特別寄付金収入	54,844,000	54,844,000	0
一般寄付金収入	108,136,000	93,030,604	15,105,396
補助金収入	723,489,000	728,832,861	△ 5,343,861
国庫補助金収入	251,000,000	256,852,000	△ 5,852,000
学術研究振興資金収入	300,000	300,000	0
地方公共団体補助金収入	464,420,000	465,157,261	△ 737,261
都私学財団補助金収入	7,769,000	6,523,600	1,245,400
資産運用収入	40,000,000	33,985,237	6,014,763
受取利息・配当金収入	40,000,000	33,495,397	6,504,603
施設設備利用料収入	0	489,840	△ 489,840
資産売却収入	100,000,000	100,000,000	0
有価証券売却収入	100,000,000	100,000,000	0
事業収入	114,003,000	120,571,116	△ 6,568,116
補助活動収入	112,923,000	108,442,380	4,480,620
収益事業収入	0	10,000,000	△ 10,000,000
受託事業収入	1,080,000	2,128,736	△ 1,048,736
雑収入	174,757,000	193,910,362	△ 19,153,362
東京都私学財団交付金収入	100,318,000	102,782,004	△ 2,464,004
私立大学退職金財団交付金収入	67,289,000	76,775,200	△ 9,486,200
その他の雑収入	7,150,000	14,353,158	△ 7,203,158
前受金収入	1,305,749,000	1,208,693,000	97,056,000

授業料前受金収入	563,920,000	492,317,000	71,603,000
入学金前受金収入	490,685,000	486,285,000	4,400,000
実験実習料前受金収入	7,344,000	7,174,000	170,000
施設設備資金前受金収入	225,125,000	205,220,000	19,905,000
冷暖房費前受金収入	13,068,000	11,556,000	1,512,000
補助活動前受金収入	5,607,000	6,141,000	△ 534,000
その他の収入	249,908,000	11,412,670,669	△ 11,162,762,669
退職給与引当特定資産からの繰入収入	0	359,200,000	△ 359,200,000
建物償却引当特定資産からの繰入収入	0	3,290,000,000	△ 3,290,000,000
法人維持特定資産からの繰入収入	0	1,069,190,000	△ 1,069,190,000
前期末未収入金収入	249,908,000	244,185,848	5,722,152
仮払金回収収入	0	121,362,908	△ 121,362,908
前渡金回収収入	0	1,301,959	△ 1,301,959
預り金受入収入	0	1,687,571,176	△ 1,687,571,176
修学旅行費預り金収入	0	86,581,126	△ 86,581,126
仮受金受入収入	0	4,553,277,652	△ 4,553,277,652
資金収入調整勘定	△ 1,495,267,000	△ 1,556,473,132	61,206,132
期末未収入金	△ 179,107,000	△ 240,313,132	61,206,132
前期末前受金	△ 1,316,160,000	△ 1,316,160,000	0
前年度繰越支払資金	6,957,427,000	6,957,426,149	
収入の部合計	13,964,544,000	24,925,829,446	△ 10,961,285,446

(単位：円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,714,243,000	3,689,344,408	24,898,592
教員人件費支出	2,374,397,000	2,357,071,731	17,325,269
職員人件費支出	1,087,125,000	1,060,814,548	26,310,452
役員報酬支出	35,123,000	34,908,729	214,271
退職金支出	217,598,000	236,549,400	△ 18,951,400
教育研究経費支出	1,302,458,000	1,187,661,981	114,796,019
準備品費支出	1,110,000	4,060,662	△ 2,950,662
消耗品費支出	129,804,000	83,727,955	46,076,045
光熱水費支出	128,156,000	127,453,332	702,668
通信運搬費支出	23,388,000	20,952,021	2,435,979
福利費支出	24,597,000	21,451,298	3,145,702
出版物費支出	47,075,000	45,148,929	1,926,071
印刷製本費支出	51,496,000	48,057,286	3,438,714
旅費交通費支出	42,514,000	41,232,836	1,281,164
奨学費支出	55,754,000	52,927,900	2,826,100
修繕費支出	109,940,000	104,113,027	5,826,973
保険料支出	3,350,000	3,092,867	257,133

賃借料支出	58,547,000	55,936,172	2,610,828
諸会費支出	9,035,000	7,316,050	1,718,950
学生・生徒会補助金支出	3,868,000	3,186,319	681,681
広告費支出	5,736,000	5,732,000	4,000
会議費支出	216,000	122,611	93,389
食事費支出	8,590,000	7,112,868	1,477,132
支払手数料支出	7,413,000	6,483,262	929,738
教育実習謝礼支出	715,000	573,000	142,000
渉外費支出	3,295,000	3,115,088	179,912
業務委託費支出	587,496,000	545,535,856	41,960,144
雑費支出	363,000	330,642	32,358
管理経費支出	748,502,000	719,963,852	28,538,148
準備品費支出	1,098,000	1,645,975	△ 547,975
消耗品費支出	39,588,000	27,134,664	12,453,336
光熱水費支出	22,592,000	21,407,187	1,184,813
通信運搬費支出	12,341,000	8,510,636	3,830,364
福利費支出	9,779,000	9,582,855	196,145
出版物費支出	1,573,000	1,036,034	536,966
印刷製本費支出	19,214,000	16,520,814	2,693,186
旅費交通費支出	13,945,000	10,749,820	3,195,180
修繕費支出	19,035,000	14,552,600	4,482,400
施設取壊費支出	4,725,000	4,725,000	0
保険料支出	1,481,000	1,271,728	209,272
賃借料支出	102,304,000	102,210,543	93,457
公租公課支出	780,000	3,315,290	△ 2,535,290
諸会費支出	8,279,000	6,716,253	1,562,747
広告費支出	129,096,000	157,852,719	△ 28,756,719
会議費支出	1,339,000	961,963	377,037
食事費支出	3,889,000	2,848,240	1,040,760
支払手数料支出	16,281,000	12,900,425	3,380,575
渉外費支出	5,823,000	4,438,684	1,384,316
業務委託費支出	335,201,000	311,255,422	23,945,578
私立大学等経常費補助金返還金支出	0	240,000	△ 240,000
雑費支出	139,000	87,000	52,000
施設関係支出	124,328,000	117,091,800	7,236,200
建物支出	109,837,000	102,601,800	7,235,200
構築物支出	14,491,000	14,490,000	1,000
設備関係支出	122,595,000	115,350,807	7,244,193
教育研究用機器備品支出	84,118,000	79,927,465	4,190,535
その他の機器備品支出	13,764,000	10,834,633	2,929,367
図書支出	23,918,000	23,898,329	19,671
車両支出	795,000	690,380	104,620

資産運用支出	1,000,000,000	5,918,390,000	△ 4,918,390,000
有価証券購入支出	200,000,000	400,000,000	△ 200,000,000
退職給与引当特定資産への繰入支出	0	359,200,000	△ 359,200,000
建物償却引当特定資産への繰入支出	500,000,000	3,790,000,000	△ 3,290,000,000
法人維持特定資産への繰入支出	300,000,000	1,369,190,000	△ 1,069,190,000
その他の支出	141,939,000	6,579,552,489	△ 6,437,613,489
仮払金支払支出	0	130,409,281	△ 130,409,281
前渡金支払支出	0	1,301,959	△ 1,301,959
前払金支払支出	25,000,000	24,863,984	136,016
仮受金支払支出	0	4,553,274,484	△ 4,553,274,484
預り金支払支出	0	1,666,183,584	△ 1,666,183,584
修学旅行費預り金支出	0	86,581,126	△ 86,581,126
前期末未払金支出	116,939,000	116,938,071	929
[予備費]	(0) 50,000,000		50,000,000
資金支出調整勘定	△ 137,511,000	△ 166,236,973	28,725,973
期末未払金	△ 94,000,000	△ 133,908,434	39,908,434
前期末前払金	△ 43,511,000	△ 32,328,539	△ 11,182,461
次年度繰越支払資金	6,897,990,000	6,764,711,082	133,278,918
支出の部合計	13,964,544,000	24,925,829,446	△ 10,961,285,446

資金収支計算書の目的は、その年度における教育研究活動、その他の諸活動に対応する全ての資金の収入と支出の内容を明らかにすること、及びその年度における資金の収入と支出の顛末を明らかにすることにあります。

平成25年度の収入の部合計は24,925,829,446円でした。一方、支出の部のうち人件費支出から資金支出調整勘定までの当年度の支出額の合計は、18,161,118,364円でした。その結果、次年度繰越支払資金は、6,764,711,082円となる。前年度繰越支払資金が6,957,426,149円でしたので、平成25年度決算の支払資金としては、平成24年度末と比べて192,715,067円（約2.77%）の減となりました。

また、前受金収入1,208,693,000円（平成26年度入学者に係る学納金等の額）を除いた平成25年度における実質的な次年度繰越支払資金は5,556,018,082円となりました。

(2) 消費収支計算書

消費収支計算書

平成25年4月1日から

平成26年3月31日まで

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	5,532,848,000	5,477,956,400	54,891,600
授業料	3,940,461,000	3,900,014,900	40,446,100
入学金	508,975,000	509,172,000	△ 197,000
実験実習料	25,438,000	22,925,500	2,512,500
施設設備資金	989,898,000	977,984,000	11,914,000

冷暖房費	68,076,000	67,860,000	216,000
手数料	98,650,000	100,382,180	△ 1,732,180
入学検定料	92,250,000	93,600,000	△ 1,350,000
証明手数料	2,340,000	2,159,600	180,400
大学入試センター試験実施手数料	4,060,000	4,622,580	△ 562,580
寄付金	162,980,000	162,151,587	828,413
特別寄付金	54,844,000	54,844,000	0
一般寄付金	108,136,000	93,030,604	15,105,396
現物寄付金	0	14,276,983	△ 14,276,983
補助金	723,489,000	728,832,861	△ 5,343,861
国庫補助金	251,000,000	256,852,000	△ 5,852,000
学術研究振興資金	300,000	300,000	0
地方公共団体補助金	464,420,000	465,157,261	△ 737,261
都私学財団補助金	7,769,000	6,523,600	1,245,400
資産運用収入	40,000,000	33,985,237	6,014,763
受取利息・配当金	40,000,000	33,495,397	6,504,603
施設設備利用料	0	489,840	△ 489,840
事業収入	114,003,000	120,571,116	△ 6,568,116
補助活動収入	112,923,000	108,442,380	4,480,620
収益事業収入	0	10,000,000	△ 10,000,000
受託事業収入	1,080,000	2,128,736	△ 1,048,736
雑収入	74,439,000	98,069,059	△ 23,630,059
私立大学退職金財団交付金	67,289,000	76,775,200	△ 9,486,200
その他の雑収入	7,150,000	14,599,240	△ 7,449,240
退職給与引当金戻入額	0	6,694,619	△ 6,694,619
帰属収入合計	6,746,409,000	6,721,948,440	24,460,560
基本金組入額合計	△ 237,625,000	△ 171,953,600	△ 65,671,400
消費収入の部合計	6,508,784,000	6,549,994,840	△ 41,210,840

(単位：円)

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,646,645,000	3,748,989,617	△ 102,344,617
教員人件費	2,374,397,000	2,357,071,731	17,325,269
職員人件費	1,087,125,000	1,060,814,548	26,310,452
役員報酬	35,123,000	34,908,729	214,271
退職金	0	750,000	△ 750,000
退職給与引当金繰入額	150,000,000	295,444,609	△ 145,444,609
教育研究経費	2,051,279,000	1,906,986,420	144,292,580
準備品費	1,110,000	4,060,662	△ 2,950,662
消耗品費	129,804,000	83,727,955	46,076,045
光熱水費	128,156,000	127,453,332	702,668

通信運搬費	23,388,000	20,952,021	2,435,979
福利費	24,597,000	21,451,298	3,145,702
出版物費	47,075,000	45,148,929	1,926,071
印刷製本費	51,496,000	48,057,286	3,438,714
旅費交通費	42,514,000	41,232,836	1,281,164
奨学費	55,754,000	52,927,900	2,826,100
修繕費	109,940,000	104,113,027	5,826,973
保険料	3,350,000	3,092,867	257,133
賃借料	58,547,000	55,936,172	2,610,828
諸会費	9,035,000	7,316,050	1,718,950
学生生徒会補助金	3,868,000	3,186,319	681,681
広告費	5,736,000	5,732,000	4,000
会議費	216,000	122,611	93,389
食事費	8,590,000	7,112,868	1,477,132
支払手数料	7,413,000	6,483,262	929,738
教育実習謝礼	715,000	573,000	142,000
渉外費	3,295,000	3,115,088	179,912
業務委託費	587,496,000	545,535,856	41,960,144
雑費	363,000	330,642	32,358
減価償却額	748,821,000	719,324,439	29,496,561
管理経費	824,837,000	795,226,494	29,610,506
準備品費	1,098,000	1,645,975	△ 547,975
消耗品費	39,588,000	27,134,664	12,453,336
光熱水費	22,592,000	21,407,187	1,184,813
通信運搬費	12,341,000	8,510,636	3,830,364
福利費	9,779,000	9,582,855	196,145
出版物費	1,573,000	1,036,034	536,966
印刷製本費	19,214,000	16,520,814	2,693,186
旅費交通費	13,945,000	10,749,820	3,195,180
修繕費	19,035,000	14,552,600	4,482,400
施設取壊費	4,725,000	4,725,000	0
保険料	1,481,000	1,271,728	209,272
賃借料	102,304,000	102,210,543	93,457
公租公課	780,000	3,315,290	△ 2,535,290
諸会費	8,279,000	6,716,253	1,562,747
広告費	129,096,000	157,852,719	△ 28,756,719
会議費	1,339,000	961,963	377,037
食事費	3,889,000	2,848,240	1,040,760
支払手数料	16,281,000	12,900,425	3,380,575
渉外費	5,823,000	4,438,684	1,384,316
業務委託費	335,201,000	311,255,422	23,945,578
私立大学等経常費補助金返還金	0	240,000	△ 240,000

雑費	139,000	87,000	52,000
減価償却額	76,335,000	75,262,642	1,072,358
資産処分差額	1,190,000	9,843,967	△ 8,653,967
建物処分差額	0	867,884	△ 867,884
教育研究用機器備品処分差額	150,000	253,692	△ 103,692
その他の機器備品処分差額	40,000	0	40,000
図書処分差額	1,000,000	8,722,391	△ 7,722,391
徴収不能額	0	7,589,000	△ 7,589,000
徴収不能額	0	7,589,000	△ 7,589,000
[予備費]	(0)		50,000,000
	50,000,000		
消費支出の部合計	6,573,951,000	6,468,635,498	105,315,502
当年度消費収入超過額	0	81,359,342	
当年度消費支出超過額	65,167,000	0	
前年度繰越消費支出超過額	3,823,347,000	3,823,346,323	
基本金取崩額	0	37,758,153	
翌年度繰越消費支出超過額	3,888,514,000	3,704,228,828	

消費収支計算書は、その年度における消費収入と消費支出の内容及びその均衡状態を明らかにすることを目的としています。消費収入とは、学生生徒等納付金等、学校法人の負債とならない収入（帰属収入）から基本金組入額を控除して計算します。基本金は、学校法人会計固有の概念のひとつで、学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとされています。消費支出は、人件費、教育研究経費等、学校法人の諸活動に伴う支出の他、減価償却額等、資金の支出を伴わない支出も含まれます。

平成25年度の帰属収入のうち、手数料収入、補助金収入、事業収入、雑収入は予算額を上回りましたが、学生生徒等納付金、寄付金及び資産運用収入が予算額を下回ったため、帰属収入合計では、予算に対して24,460,560円減の6,721,948,440円（予算比0.36%減）となりました。一方、基本金組入額は予算を65,671,400円下回ったため、消費収入の部合計は、予算を41,210,840円上回り、6,549,994,840円となりました。

消費支出については、人件費が全体で予算を102,344,617円上回ったほか、教育研究経費が144,292,580円、管理経費が29,610,506円、それぞれ予算を下回りました。資産処分差額については、予算を8,653,967円上回りました。予算には計上していない学生生徒等納付金に係る徴収不能額については、7,859,000円の支出額となりました。また、予備費50,000,000円は未執行でした。これらにより、消費支出の部合計は、予算を105,315,502円下回り、6,468,635,498円となりました。

以上のとおり、消費収入が消費支出を上回った結果、当年度消費収入超過額は81,359,342円となり、ほぼ収支均衡という結果となりました。

(3) 貸借対照表

貸借対照表

平成26年 3月31日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	24,784,692,072	24,242,157,448	542,534,624
有形固定資産	16,891,531,962	17,448,958,738	△ 557,426,776
土地	1,813,071,433	1,813,071,433	0
建物	11,596,158,559	12,040,441,346	△ 444,282,787
構築物	167,425,577	185,828,582	△ 18,403,005
教育研究用機器備品	485,131,833	590,131,144	△ 104,999,311
その他の機器備品	112,722,196	127,945,782	△ 15,223,586
図書	2,715,742,811	2,690,154,992	25,587,819
車両	1,279,553	1,385,459	△ 105,906
その他の固定資産	7,893,160,110	6,793,198,710	1,099,961,400
敷金	115,428,580	115,428,580	0
電話加入権	13,566,079	13,566,079	0
商標権	125,451	164,051	△ 38,600
有価証券	300,000,000	0	300,000,000
収益事業元入金	3,000,000	3,000,000	0
長期貸付金	3,000,000	3,000,000	0
退職給与引当特定資産	927,600,000	927,600,000	0
建物償却引当特定資産	3,500,000,000	3,000,000,000	500,000,000
法人維持特定資産	3,030,440,000	2,730,440,000	300,000,000
流動資産	7,389,006,888	7,595,948,535	△ 206,941,647
現金預金	6,764,711,082	6,957,426,149	△ 192,715,067
修学旅行費預り資産	41,117,222	45,463,904	△ 4,346,682
未収入金	232,724,132	244,185,848	△ 11,461,716
仮払金	10,139,437	1,093,064	9,046,373
前払金	40,315,015	47,779,570	△ 7,464,555
有価証券	300,000,000	300,000,000	0
資産の部合計	32,173,698,960	31,838,105,983	335,592,977

(単位：円)

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,786,368,379	1,628,622,449	157,745,930
退職給与引当金	1,786,368,379	1,628,622,449	157,745,930
流動負債	1,496,187,356	1,571,653,251	△ 75,465,895
前受金	1,208,693,000	1,316,160,000	△ 107,467,000
仮受金	114,048	110,880	3,168

預り金	112,354,652	92,980,396	19,374,256
修学旅行費預り金	41,117,222	45,463,904	△ 4,346,682
未払金	133,908,434	116,938,071	16,970,363
負債の部合計	3,282,555,735	3,200,275,700	82,280,035
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	32,055,372,053	31,921,176,606	134,195,447
第4号基本金	540,000,000	540,000,000	0
基本金の部合計	32,595,372,053	32,461,176,606	134,195,447
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	3,704,228,828	3,823,346,323	△ 119,117,495
消費収支差額の部合計	△ 3,704,228,828	△ 3,823,346,323	119,117,495
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	32,173,698,960	31,838,105,983	335,592,977

固定資産のうち有形固定資産については、施設、設備の取得額よりも減価償却額及び除却額（主に小日向テニスコート除却）が上回ったことにより、有形固定資産の差引期末残高は557,426,776円減少し、16,891,531,962円となりました。また、その他の固定資産については、有価証券購入および特定資産への積立により、全体で1,099,961,400円増加し、7,893,160,110円となりました。流動資産については、現預金、未収入金等の減少が主な要因となり、全体206,941,647円減少し、7,389,006,888円となりました。

固定負債の退職給与引当金が157,745,930円増加し、流動負債のうち前受金が107,467,000円減少するなど、流動負債全体で75,465,895円減少したことにより、負債の部の合計は、82,280,035円増加し、3,282,555,735円となりました。

基本金の部は、134,195,447円増加し、32,595,372,053円となりました。また、消費収支差額の部（翌年度繰越消費支出超過額）は、消費収支計算書における当年度消費収入超過額である81,359,342円及び基本金取崩額37,758,153円が減少となって、3,704,228,828円となりました。

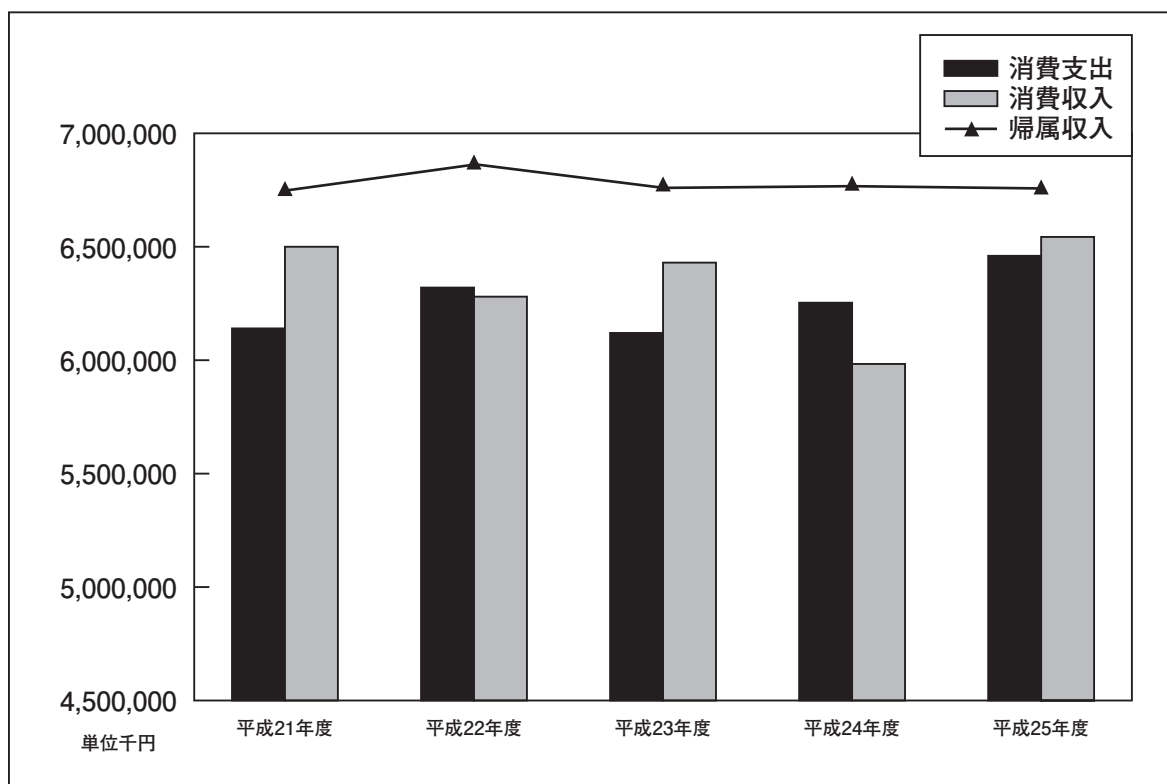
(4) 財産目録

財 産 目 録
平成26年 3月31日

I	資産総額	32,173,698,960円
	内 (一) 基本財産	16,891,531,962円
	(二) 運用財産	15,282,166,998円
II	負債総額	3,282,555,735円
III	正味財産	28,891,143,225円

	区分	金額
一	資産	
(一)	基本財産	
1	土地	233,098.04㎡
(1)	校地	233,098.04㎡
2	建物	74,572.96㎡
(1)	校舎	70,666.05㎡
(2)	校外	2,157.26㎡
(3)	法人棟	1,749.65㎡
3	教具、校具、備品	32,349点
4	図書	532,877冊
5	その他	168,705,130円
(二)	運用財産	
1	現金預金	6,764,711,082円
2	積立金	7,458,040,000円
3	その他	1,059,415,916円
	総額	32,173,698,960円
二	負債	
(一)	固定負債	
1	退職給与引当金	1,786,368,379円
(二)	流動負債	
1	前受金	1,208,693,000円
2	未払金	133,908,434円
3	その他	153,585,922円
	総額	3,282,555,735円
	正味財産 (資産総額－負債総額)	28,891,143,225円

2. 過去5年間の収支決算の推移について



帰属収入	負債とならない収入
消費収入	帰属収入から基本金組入額を控除した収入で、消費支出に充てられる収入
消費支出	消費する資産の取得価額及び用役の対価（人件費、消耗品、旅費交通費等）

IV. 収益事業の概要

(1) 概 要

平成25年度の収益事業部（以下「事業部」という。）は、前年度から引き続き専任職員1名、アルバイト職員1名及び派遣職員1名が業務を担当し、例年どおり主として中学校高等学校の教科書、学用品及びスポーツ用品の販売並びに駐車場賃貸業務を行った。

平成23年度から(株)トヨタエンタプライズに賃貸された音羽駐車場は、年間賃料が19,920千円（月額1,660千円、税込）で、事業部の年間経常収入35,060千円の約56%を占め、収益事業の経営の安定に寄与して来たが、平成27年4月からその敷地の用途を学生寮に変更することから、平成26年2月25日に契約解除を申し入れ、遅くとも5月26日までには学園に返還される予定である。

この音羽駐車場に代わり、事業部では、平成25年12月20日から元テニスコートの小日向駐車場（時間貸し20台、月極28台）を銀泉(株)に賃貸し、月額1,000千円（税抜。但し、当初3ヶ月は600千円）、年額12,960千円（税込）の収入（前年度比△6,960千円）を見込むこととなった。

駐車場以外の事業部の主たる業務である中学校の学用品販売（教科書・副教材等その他指定用品）は、商品売り上げが少し減ったが、書籍売上が伸び、また期中12月から音羽駐車場と小日向駐車場の賃貸料収入の併収期間が生じたため、全体として売上高は前年度比で6,787千円の増額となった。

また、平成24年度から収益事業部の職員が専任職員1名（平成23年度までは2名）とアルバイト職員1名、派遣職員1名の計3名の構成となって以来、その人件費減もまた、引き続き経常利益に大きく貢献している。

その結果、学園への寄付金10,000千円を計上した上で、経常利益が5,808千円（前年度5,238千円）の黒字となったことにより、税引後の当期純利益は4,229千円（前年度3,713千円）となり、これと繰越利益剰余金期首残高5,073千円（前年度1,359千円）とを合計して得られる繰越利益剰余金期末残高は9,303千円（前年度5,073千円）となった。

<事業部の年間業務>

- 4月 新学期販売準備（上履、校庭履、指定用品等）
 - 中・高生学用品販売
 - ランチ販売
 - 団体保険、損害保険代理店業務
 - 駐車場賃貸
- 5月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売、幹事会・父母会等飲料水販売
収益事業決算
- 7月 中・高生夏期講習用テキスト販売
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 8月 夏期休業
- 9月 中・高生新年度用教科書・教材問合せ準備
中学校・高校文化祭・入試問題集・グッズ等販売
- 10月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
中学校新入生用学用品発注
- 11月 中・高生新学期用教科書入荷
中・高生用副教材発注準備・教師用指導書発注
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 12月 中・高生新学期用教科書入荷
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売

- 中学校帰国生入試関係準備
- 1月 中・高在校生教科書副教材申込・集計等
中・高生新学期用副教材の発注
- 2月 中学校新入生副教材・学用品販売
- 3月 中・高在校生教科書・副教材販売（2月下旬から3月上旬）
中・高生新学期用物品等準備
棚卸し（月末）
予算編成

(2) 貸借対照表について

資産の部合計	29,934千円で、前年度比	6,576千円の増
負債の部合計	17,631千円で、前年度比	2,346千円の増
純資産の部合計	12,303千円で、前年度比	4,229千円の増

平成23年度に、流動負債の未払金9,678千円を学園に返金し、また純資産の部の繰越利益剰余金についても、平成22年度の△5,784千円の赤字が解消されて1,359千円の黒字となって以来、純資産とその資産に占める割合の増加がともに進み、平成25年度も引き続き健全な資産内容へと改善が進んだ。

(3) 損益計算書について

平成25年度は、商品売り上げが少し減ったが、書籍売上が伸び、また期中12月からで音羽駐車場と小日向駐車場の賃貸料収入の併収期間が生じたため、売上高合計が94,202千円となり、前年度比で6,787千円の増額となった。

一方、書籍仕入増に伴い売上原価も増加したため、売上総利益は38,163千円（前年度37,425千円）で前年度比737千円（前年度2,593千円）の増加にとどまり、営業利益は4,291千円（前年度3,787千円）となった。販売費及び一般管理費は、前年度と同様に、学園への寄付金10,000千円を含むものである。また当年度も、前年度からの専任職員1人体制（1名減）による人件費減がプラス要因となった。営業外利益は1,517千円であったので、平成25年度の経常利益は5,808千円（前年度5,238千円）の黒字となった。

この結果、税引後の当期純利益は4,229千円（前年度3,713千円）となった。当期純利益に繰越利益剰余金期首残高5,073千円（前年度1,359千円）を加算すると、平成25年度の繰越利益剰余金期末残高は9,303千円（前年度5,073千円）となり、前年度より4,229千円（前年度3,713千円）の増加となった。

平成25年度収益事業に係る貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
流動資産	29,687,245
固定資産	247,502
資産の部合計	29,934,747
負債の部	
流動負債	14,631,406
固定負債	3,000,000
負債の部合計	17,631,406
純資産の部	
元入金	3,000,000
剰余金・欠損金	9,303,341
繰越利益剰余金	9,303,341
純資産の部合計	12,303,341
負債・純資産の部合計	29,934,747

平成25年度収益事業に係る損益計算書

(単位：円)

経常損益の部	
営業損益	
営業収益	94,202,668
営業費用	56,039,283
売上総利益	38,163,385
販売費及び一般管理費	33,872,197
営業利益	4,291,188
営業外損益（収益）	1,517,311
経常利益	5,808,499
特別損益の部	
特別損失	0
税引前当期純利益	5,808,499
法人税・住民税及び事業税	1,579,100
当期純利益	4,229,399
繰越利益剰余金期首残高	5,073,942
繰越利益剰余金期末残高	9,303,341


監 査 報 告 書

平成26年5月15日

学校法人 跡見学園
理 事 会 御 中
評 議 員 会 御 中

学校法人 跡見学園

監事

金井 塚 清 

監事

伊澤 辰 雄 

私たち学校法人跡見学園の監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人跡見学園寄附行為第10条の規定に基づき、平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の法人の業務、収支及び財産並びに理事の職務執行の状況を監査いたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会及び評議員会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、かつ、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な関係部署において業務、収支及び財産の状況を調査し、また、会計監査人（角論、杉山七美）と連携を取り、計算書類につき検討を行いました。

2. 監査の結果

- (1) 法人の業務に関する決定、理事の職務執行及び業務の報告に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (2) 資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）並びに収益事業に係る計算書類は、会計帳簿の記載と合致し、法令及び寄附行為に従い法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上